

# 地籍調査成果電子納品要領

令和 7 年 4 月

国土交通省 不動産・建設経済局

[改定履歴]

要領・基準名称	適用要領基準 ※1	備考
地籍調査成果電子納品要領 平成 17 年 4 月	地籍 200502-01	平成 17 年 4 月初版発行
地籍調査成果電子納品要領 平成 25 年 4 月	地籍 201304-01	平成 25 年 4 月初版発行
〃	〃	平成 25 年 3 月 DTD バージョン番号変更 ・測量情報管理ファイル TSUR_D01.DTD ・地籍基本調査成果管理ファイル TISK_D01.DTD
地籍調査成果電子納品要領 平成 28 年 4 月	地籍 201604-01	平成 28 年 4 月初版発行
地籍調査成果電子納品要領 平成 29 年 4 月	地籍 201704-01	平成 29 年 4 月初版発行
地籍調査成果電子納品要領 令和 7 年 4 月	地籍 202504-01	令和 7 年 4 月初版発行

※1 測量情報管理項目の基礎情報「適用要領基準」項目に記入する内容

－ 目次 －

1 適用	1
2 成果品の電子化と検査（検定）	2
2.1 検符及び押印	2
2.2 電子納品成果の検査（検定）	2
3 電子媒体	3
3.1 電子媒体について	3
3.2 電子媒体に貼るラベルについて	3
4 フォルダ構成	4
4.1 全体構成	4
4.2 地籍調査フォルダ構成	7
5 成果品の管理項目	14
5.1 測量情報管理項目	14
5.2 地籍調査成果管理項目	19
6 ファイル形式及びファイル命名規則	21
6.1 地籍調査成果ファイル形式	21
6.2 地籍調査成果ファイル命名規則	22
6.3 地籍調査成果ファイル	26
7 その他留意事項	42
7.1 電子納品の対象外となる成果等	42
7.2 測地系	42
付属資料 1	43
1-1 測量情報管理ファイルのDTD 例	43
1-2 地籍調査成果管理ファイルのDTD 例	45
付属資料 2	46
2-1 測量情報管理ファイルのXML 例	46
2-2 地籍調査成果管理ファイルのXML 例	51

## 1 適用

「地籍調査成果電子納品要領（以下「本要領」という。）は、国土調査法に基づく地籍調査の地籍調査作業規程準則及び同運用基準に従って、地籍調査の C、D、RD、E、F I、F II-1、F II-2、G、H、FR 工程（A、B 工程は除く）、街区境界調査の GC、GD、GE、GF1、GF II-1、GF II-2、GG、GH、FR 工程（GA、GB 工程は除く）から作成される成果品を電子的手段により引き渡す場合に適用する。

### 【解説】

本要領は、地籍調査の成果等を電子納品する際の標準的な仕様を定めるものである。

本要領に定めない事項については、「土木設計業務等の電子納品要領」及び「測量成果電子納品要領」の最新の要領に従うこと。

地籍調査において、C 工程は地籍図根三角測量、D 工程は地籍図根多角測量、RD 工程は航空測量、E 工程は一筆地調査、F I 工程は細部図根測量、F II-1 工程は一筆地測量、F II-2 工程は地籍図原図の作成、G 工程は地積測定、H 工程は地籍図及び地籍簿の作成を示すものとする。

街区境界調査において、GC 工程は地籍図根三角測量、GD 工程は地籍図根多角測量、GE 工程は一筆地調査、GF I 工程は細部図根測量、GF II-1 工程は街区境界測量、GF II-2 工程は街区境界調査図原図の作成、GG 工程は街区面積測定、GH 工程は街区境界調査図及び街区境界調査簿の作成を示すものとする。

また、地籍調査及び街区境界調査において、運用基準第 15 条の 2 第 4 項により、筆界の位置を復元する必要がある場合に、確定図等筆界に関する資料に基づいて筆界点の復元を行う測量（復元測量）を FR 工程と示すものとする。

## 2 成果品の電子化と検査

### 2.1 検符及び押印

電子納品する地籍調査成果については、電磁的記録を除き点検終了後の成果品（検符・押印済み等）を電子化し、格納するものとする。

また、国土地理院に測量成果の検定機関として登録されている第三者機関（以下「第三者機関」という。）による成果検定を受け、成果検定終了後の成果品（第三者機関検符・押印済み）を電子化し、格納するものとする。

電子化された成果品は、本要領に基づき検査を行うものとする。

#### 【解説】

地籍調査成果の電子納品は、自己点検を黒色、自社点検を赤色、工程管理者を緑色（第三者機関による成果検定を受けた場合は茶色）で検符を行った成果品を表 6-3 に示すファイル形式に電子化し、検符を要さない成果品（選点手簿、成果簿数値データ、網図等）は、表 6-3 に示すファイル形式で格納するものとする。

### 2.2 電子納品成果の検査

2.1 で受注者が自社内で行った点検作業の証拠書類の納品については、一定期間を定めて受注者側で保管する等、受発注者間で協議する。

### 3 電子媒体

#### 3.1 電子媒体について

電子媒体は、CD-R 又は DVD-R とし、1 枚に格納することを標準とする。

ただし、発注者と協議の上、電子データが大容量の場合、外付け HDD 等も納品できるものとする。

#### 3.2 電子媒体に貼るラベルについて

成果品の電子納品時における使用媒体に用いるラベルについては、以下の各項目に従うものとする。

(1) 媒体のラベルには、以下のような情報を明記する。

- 1) 業務名称
- 2) 作成年月
- 3) 発注者名
- 4) 受注者名
- 5) 何枚目/総枚数
- 6) ウイルスチェックに関する情報

- ・受注者は、納品すべき成果品が完成した時点で、ウイルスチェックを行う。
- ・ウイルス対策ソフトは特に指定はしないが、信頼性の高いものを利用する。
- ・最新のウイルスも検出できるように、ウイルス対策ソフトは常に最新のデータに更新（アップデート）したものを利用する。
- ・電子媒体の表面には、「使用したウイルス対策ソフト名」、「ウイルス（パターンファイル）定義年月日またはパターンファイル名」、「チェック年月日（西暦表示）」を明記する。



## 4 フォルダ構成

### 4.1 全体構成

電子的手段により引き渡される地籍調査の成果品は「図 4-1 フォルダ全体構成図」に示すフォルダ構成とする。

地籍調査成果を格納する「SURVEY」フォルダの下に「TISEKI」、「DOC」のサブフォルダと、測量情報管理ファイルを格納する。管理ファイルを規定する DTD も合わせて格納する。

「TISEKI」サブフォルダの下には、「地籍調査記録」、「地籍調査成果」、「その他」を格納するため「WORK」、「DATA」、「OTHS」のサブフォルダを置く。また地籍調査の成果等及び、地籍調査成果管理ファイルを格納し、管理ファイルを規定する DTD も合わせて格納する。

#### 【留意事項】

- ① フォルダ名称は、半角英数大文字とする。
- ② 格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもよい。
- ③ 管理ファイルのスタイルシートは任意とするが、作成する場合は XSL に準じる。

#### 【解説】

##### (1) 電子媒体ルートフォルダ

###### 1) 業務管理ファイル

電子媒体ルートフォルダに格納する「業務管理ファイル」は「業務管理項目」（業務の属性を表すデータ）を XML 文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「INDEX\_D.XML」とする。

「業務管理項目」の詳細は、「土木設計業務等の電子納品要領」に示すとおりである。ただし、最新の要領に従うこと。業務管理ファイルを規定する DTD 「INDE\_Dnn.DTD」及び XSL 「INDE\_Dnn.XSL」（nn は版情報を表す）も合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。版情報は、「土木設計業務等の電子納品要領」に示すとおりであるが、最新の要領に従うこと。

##### (2) SURVEY フォルダ（測量データフォルダ）

###### 1) 測量情報管理ファイル

「SURVEY」フォルダに格納する「測量情報管理ファイル」は、「測量情報管理項目」（測量情報の属性を表すデータ）を XML 文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURVEY.XML」とする。「測量情報管理項目」の詳細は、「5.1 測量情報管理項目」に示すとおりである。測量情報管理ファイルを規定する DTD 「TSUR\_Dnn.DTD」及び XSL 「TSUR\_Dnn.XSL」（nn は版情報を表す）も合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。

##### (3) TISEKI サブフォルダ（地籍調査サブフォルダ）

###### 1) 地籍調査成果管理ファイル

「TISEKI」フォルダに格納する「地籍調査成果管理ファイル」は、「地籍調査成果管理項目」（地籍調査成果の属性を表すデータ）を XML 文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURV\_TSK.XML」とする。「地籍調査成果管理項目」の詳細は、「5.2 地籍調査成果管理項目」に示すとおりである。地籍調査成果管理ファイルを規定する DTD 「TISK\_Dnn.DTD」及び XSL 「TISK\_Dnn.XSL」（nn は版情報

を表す)も合わせて格納する。ただし、XSL ファイルの格納は任意とする。

2) 地籍調査記録サブフォルダ (WORK)

地籍調査の作業工程で成果品を作成する過程の記録を格納する。本フォルダ以下には実施した作業工程に応じて、測量細区分を示すサブフォルダを置く。サブフォルダ構成は図 4-2 の地籍調査フォルダに記す。

3) 地籍調査成果サブフォルダ (DATA)

地籍調査の作業工程の最終成果品を格納する。本フォルダ以下には実施した作業工程に応じて、測量細区分を示すサブフォルダを置く。サブフォルダ構成は図 4-2 の地籍調査フォルダに記す。

4) その他データサブフォルダ (OTHR)

地籍調査における各種証明書、説明書等を格納する。また、受発注者間協議により、本要領で定められていない地籍調査の成果等を格納する。

(4) DOC サブフォルダ (ドキュメントサブフォルダ)

「DOC」サブフォルダには、「ドキュメントファイル」を格納する。表 4-1 に示す当該測量作業のドキュメントを、「DOC」サブフォルダ直下に格納する。「DOC」サブフォルダは、細分しない。

これらのファイル保存形式及びファイル名称は表 4-1 に従うものとする。

表 4-1 DOC サブフォルダ内の成果

納品物の名称	ファイル形式	ファイル名称	備考
製品仕様書	PDF	SPECPnnn. PDF	受発注者間の協議によりオリジナルファイルも可とする。
特記仕様書	PDF	SPECSnnn. PDF	受発注者間の協議によりオリジナルファイルも可とする。
協議書	PDF	MEETSnnn. PDF	受発注者間の協議によりオリジナルファイルも可とする。
実施報告書	PDF	SUVRPnnn. PDF	受発注者間の協議によりオリジナルファイルも可とする。 実施報告、現場写真、案内図等
その他の資料	—	OTHRsnnn. XXX	受発注者間の協議によりオリジナルファイルも可とする。

ファイル名称の「nnn」部分には、同一成果のファイル内で割振った連番 (001~999, A00~A99, B00~B99, …, Z00~Z99) を付与する。オリジナルファイルの拡張子は 4 文字でもよい。

例: 協議書が 10 ファイルある場合

MEETS001. PDF、MEETS002. PDF、MEETS003. PDF . . . . . MEETS010. PDF

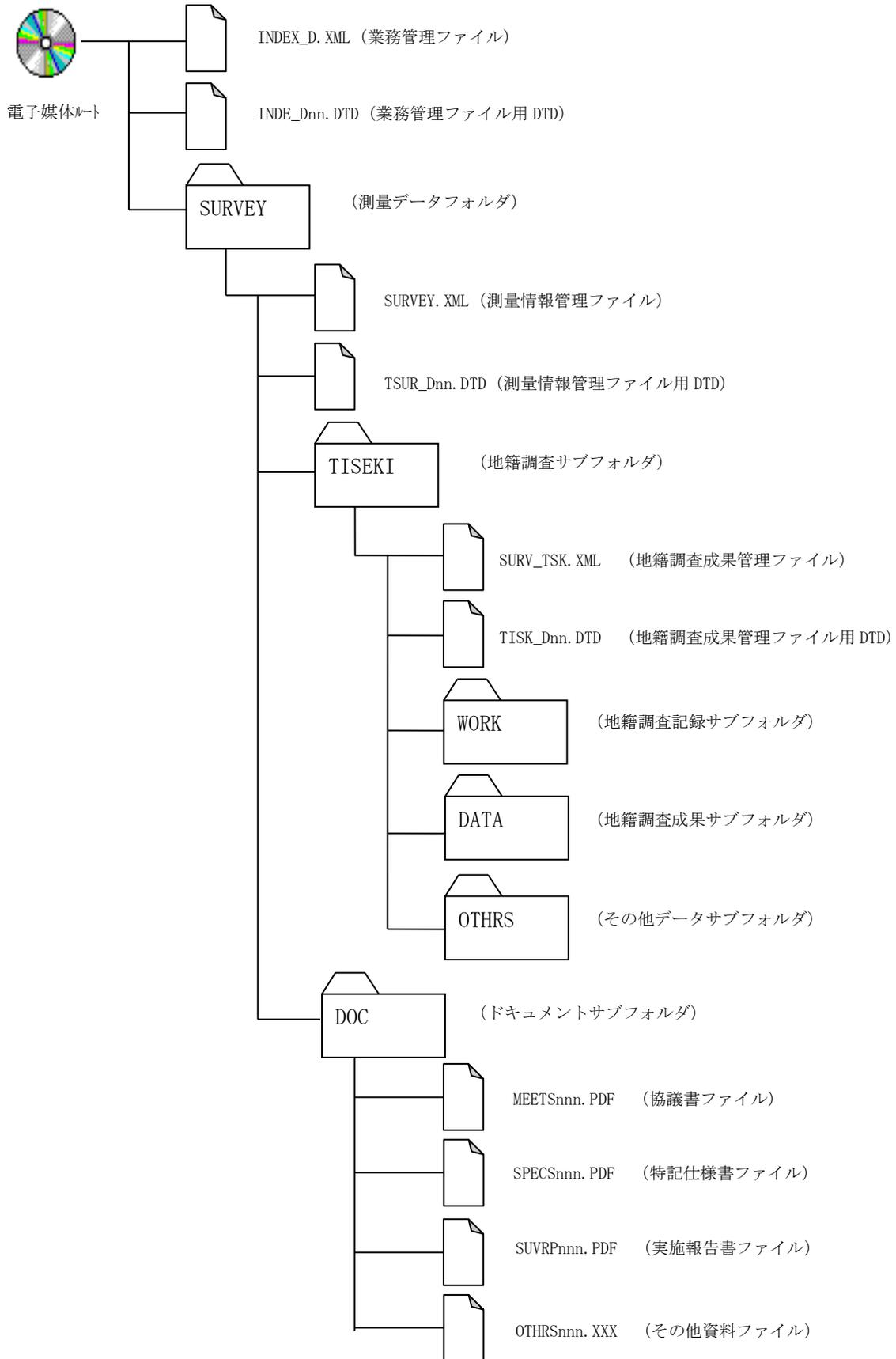


図 4-1 フォルダ全体構成図

## 4.2 地籍調査サブフォルダ構成

地籍調査の成果等を格納するフォルダには次の「WORK」、「DATA」、「OTHRs」、「DOC」から構成される。

「DOC」を除く各フォルダには、地籍調査作業の各工程で得られる地籍調査記録（観測手簿、観測記簿等）、最終的な地籍調査成果（成果表、網図等）、その他のデータ（各種証明書、説明書等）を分類して格納するための「WORK」、「DATA」、「OTHRs」サブフォルダを作成し、当該成果等を格納する。

- ・「WORK」サブフォルダには地籍調査の記録を格納する。
- ・「DATA」サブフォルダには地籍調査の成果を記録する。
- ・「OTHRs」サブフォルダには測量機器検定証明書、ファイル説明書等のデータを格納する。

「WORK」、「DATA」サブフォルダは、その下に実施した作業工程に応じて、地籍調査細区分を示すサブフォルダを設け、成果を格納する。地籍調査細区分フォルダの名称は表 4-2 に示す名称とする。

### 【解説】

地籍調査成果格納フォルダ（「TISEKI」）の下に、地籍調査の作業工程で成果品を作成する過程の記録（観測手簿、観測記簿等）と、地籍調査の作業工程の最終成果品（成果表、網図等）とに分類して格納するためのサブフォルダを作成し、各々の下に当該成果を格納する。

「WORK」「DATA」サブフォルダは、実施した地籍調査作業工程に応じて細分し、さらに、測量地域（地番区域ではない）、精度区分に応じて、A～Z、1～9 の記号によって補助的に区分した細区分サブフォルダを作成し、当該成果等を格納する。これらのサブフォルダは、表 4-2（地籍調査：地上法）、表 4-3（地籍調査：航測法）及び表 4-4（街区境界調査）に示す名称とする。なお、地籍調査成果がないサブフォルダは省略することができるものとする。

例：細部図根測量（F I 工程）を精度区分の異なる 2 地区で実施した場合

- ・ TISEKI/WORK/F1PROC\_A
- ・ TISEKI/WORK/F1PROC\_B

なお、1 地区 1 精度で実施した場合は、「A」の記号を割り当てる。

例：細部図根測量（F I 工程）を精度区分 1 地区 1 精度で実施した場合

- ・ TISEKI/WORK/F1PROC\_A

表 4-2 地籍調査におけるフォルダ構成（地籍調査：地上法）

測量区分	成果区分	地籍調査細区分	サブフォルダ名
地籍調査 <TISEKI>	地籍調査記録 <WORK>	地籍図根三角測量 <CPROC_*>	/TISEKI /WORK/CPROC_*
		地籍図根多角測量 <DPROC_*>	/TISEKI /WORK/DPROC_*
		一筆地調査 <EPROC_*>	/TISEKI /WORK/EPROC_*
		細部図根測量 <F1PROC_*>	/TISEKI /WORK/F1PROC_*
		一筆地測量 <F2PROC_*>	/TISEKI /WORK/F2PROC_*
		地積測定 <GPROC_*>	/TISEKI /WORK/GPROC_*
		復元測量 <FRPROC_*>	/TISEKI /WORK/FRPROC_*
	地籍調査成果 <DATA>	地籍図根三角測量 <CPROC_*>	/TISEKI /DATA/CPROC_*
		地籍図根多角測量 <DPROC_*>	/TISEKI /DATA/DPROC_*
		一筆地調査 <EPROC_*>	/TISEKI /DATA/EPROC_*
		細部図根測量 <F1PROC_*>	/TISEKI /DATA/F1PROC_*
		一筆地測量 地籍図原図の作成 <F2PROC_*>	/TISEKI /DATA/F2PROC_*
		地積測定 <GPROC_*>	/TISEKI /DATA/GPROC_*
		地籍図及び地籍簿の作成 <HPROC_*>	/TISEKI /DATA/HPROC_*
		復元測量 <FRPROC_*>	/TISEKI /DATA/FRPROC_*
	その他データ <OTHR>		/TISEKI /OTHR

注)「\*」は各細区分に該当する作業を複数地区や複数の精度で実施した場合の識別記号を表し、地区数等に応じてA～Zならびに1～9を適用する。

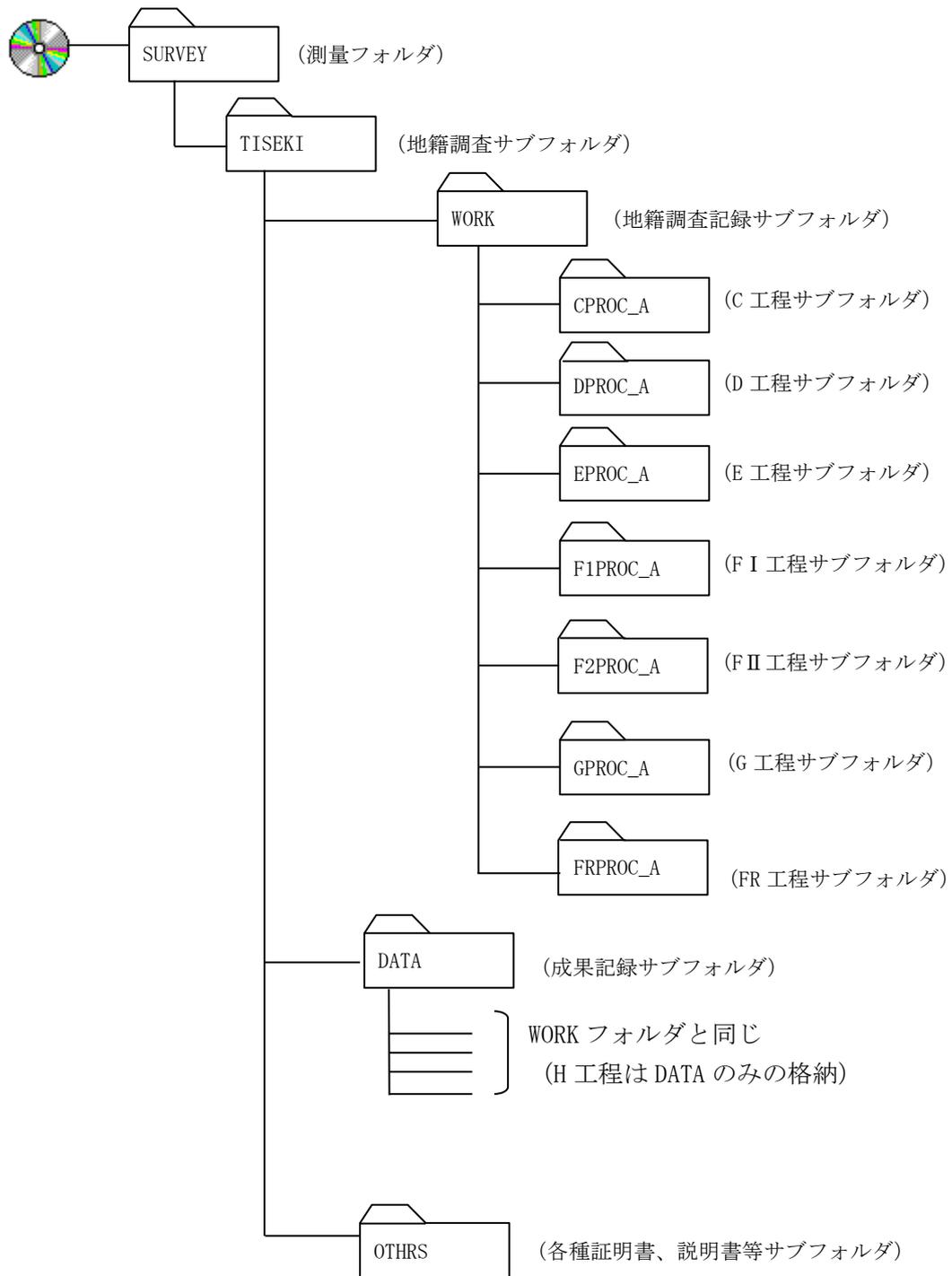


図 4-2 地籍調査サブフォルダ構成 (地籍調査：地上法)

表 4-3 地籍調査におけるフォルダ構成（地籍調査：航測法）

測量区分	成果区分	地籍調査細区分	サブフォルダ名
地籍調査 <TISEKI>	地籍調査記録 <WORK>	地籍図根三角測量 <CPROC_*>	/TISEKI /WORK/CPROC_*
		航空測量 <RDPROC_*>	/TISEKI /WORK/RDPROC_*
		一筆地調査 <EPROC_*>	/TISEKI /WORK/EPROC_*
		補備測量（細部図根測量） <F1PROC_*>	/TISEKI /WORK/F1PROC_*
		補備測量（一筆地測量） <F2PROC_*>	/TISEKI /WORK/F2PROC_*
		地積測定 <GPROC_*>	/TISEKI /WORK/GPROC_*
		復元測量 <FRPROC_*>	/TISEKI /WORK/FRPROC_*
		地籍調査成果 <DATA>	地籍図根三角測量 <CPROC_*>
	航空測量 <RDPROC_*>		/TISEKI /DATA/RDPROC_*
	一筆地調査 <EPROC_*>		/TISEKI /DATA/EPROC_*
	補備測量（細部図根測量） <F1PROC_*>		/TISEKI /DATA/F1PROC_*
	補備測量（一筆地測量） 地籍図原図の作成 <F2PROC_*>		/TISEKI /DATA/F2PROC_*
	地積測定 <GPROC_*>		/TISEKI /DATA/GPROC_*
	地籍図及び地籍簿の作成 <HPROC_*>		/TISEKI /DATA/HPROC_*
	復元測量 <FRPROC_*>		/TISEKI /DATA/FRPROC_*
	その他データ <OTHS>		/TISEKI /OTHS

注)「\*」は各細区分に該当する作業を複数地区や複数の精度で実施した場合の識別記号を表し、地区数等に応じてA～Zならびに1～9を適用する。

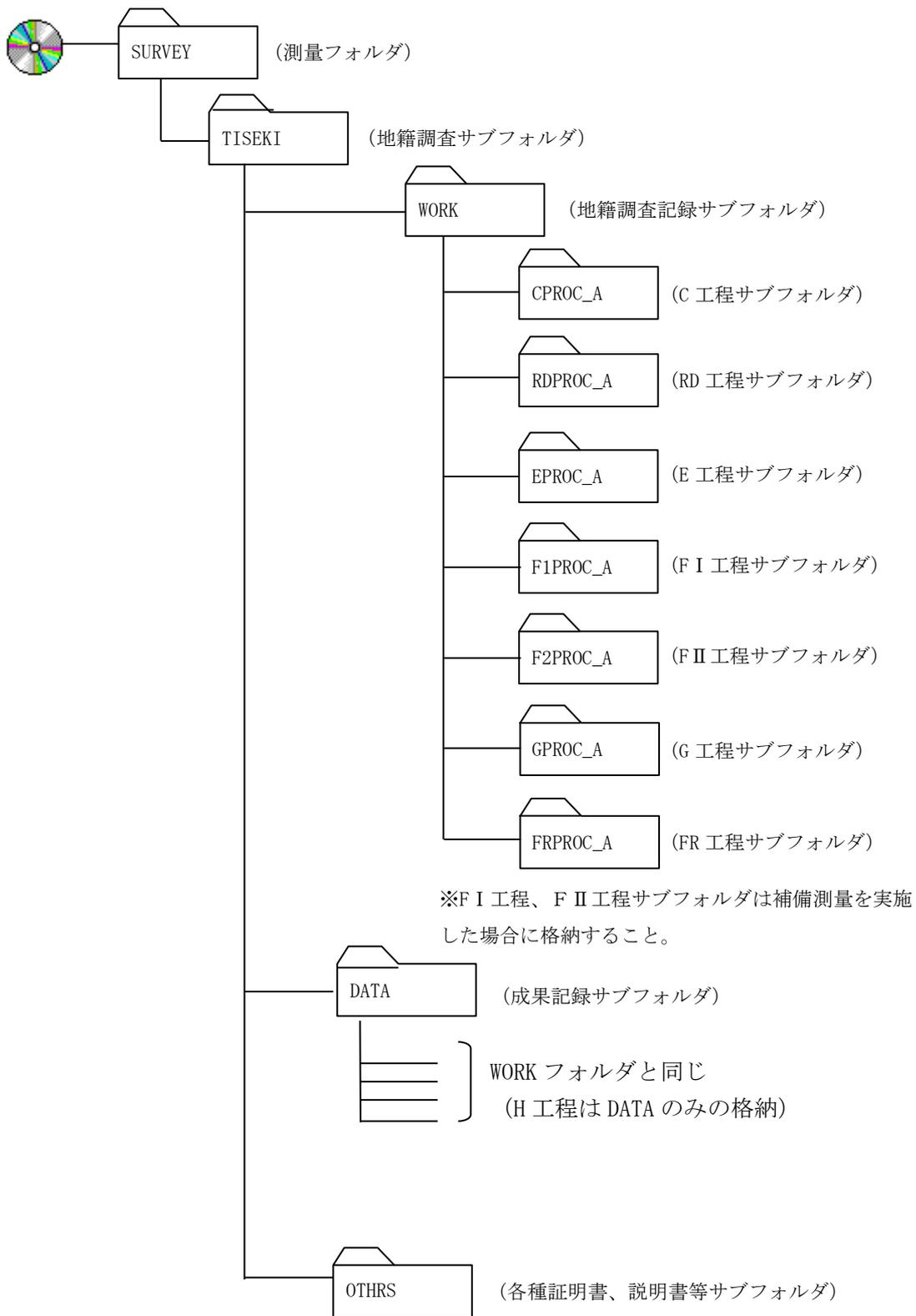


図 4-3 地籍調査サブフォルダ構成（地籍調査：航測法）

表 4-4 地籍調査におけるフォルダ構成（街区境界調査）

測量区分	成果区分	地籍調査細区分	サブフォルダ名
地籍調査 <TISEKI>	地籍調査記録 <WORK>	地籍図根三角測量 <CPROC_*>	/TISEKI /WORK/CPROC_*
		地籍図根多角測量 <DPROC_*>	/TISEKI /WORK/DPROC_*
		一筆地調査 <EPROC_*>	/TISEKI /WORK/EPROC_*
		細部図根測量 <F1PROC_*>	/TISEKI /WORK/F1PROC_*
		街区境界測量 <F2PROC_*>	/TISEKI /WORK/F2PROC_*
		街区面積測定 <GPROC_*>	/TISEKI /WORK/GPROC_*
		復元測量 <FRPROC_*>	/TISEKI /WORK/FRPROC_*
	地籍調査成果 <DATA>	地籍図根三角測量 <CPROC_*>	/TISEKI /DATA/CPROC_*
		地籍図根多角測量 <DPROC_*>	/TISEKI /DATA/DPROC_*
		一筆地調査 <EPROC_*>	/TISEKI /DATA/EPROC_*
		細部図根測量 <F1PROC_*>	/TISEKI /DATA/F1PROC_*
		街区境界測量 街区境界調査図原図の作成 <F2PROC_*>	/TISEKI /DATA/F2PROC_*
		街区面積測定 <GPROC_*>	/TISEKI /DATA/GPROC_*
		街区境界調査図及び街区境 界調査簿の作成 <HPROC_*>	/TISEKI /DATA/HPROC_*
		復元測量 <FRPROC_*>	/TISEKI /DATA/FRPROC_*
	その他データ <OTHR>		/TISEKI /OTHR

注)「\*」は各細区分に該当する作業を複数地区や複数の精度で実施した場合の識別記号を表し、地区数等に応じてA～Zならびに1～9を適用する。

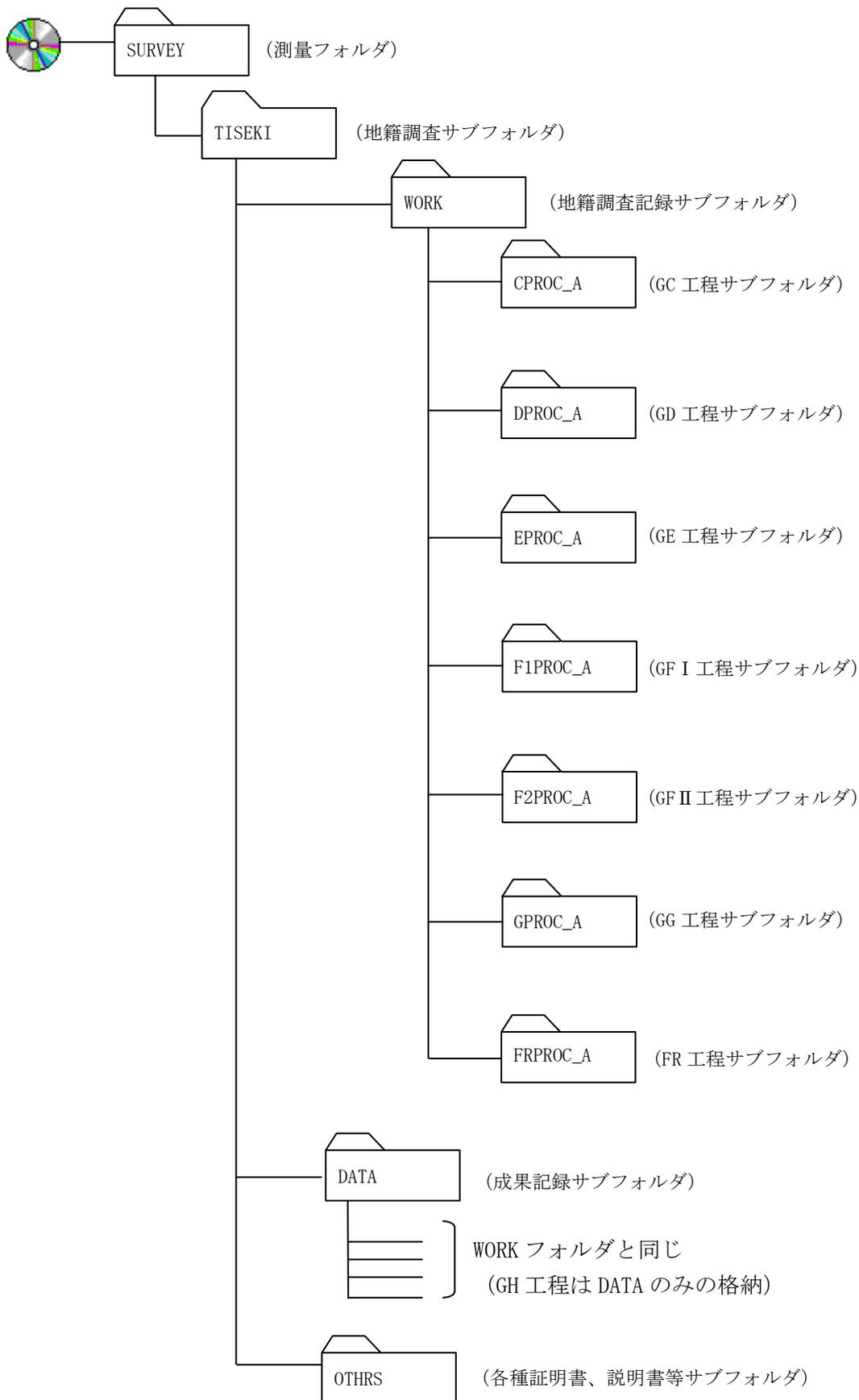


図 4-4 地籍調査サブフォルダ構成 (街区境界調査)

## 5 成果品の管理項目

### 5.1 測量情報管理項目

成果品の電子媒体に格納する測量情報管理ファイル（SURVEY.XML）に記入する測量情報管理項目は、表 5-1 に示すとおりである。

表 5-1 測量情報管理項目

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
基礎情報	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領の版（「地籍 202504-01」で固定）を記入する。	全角文字 半角英数字	30	▲	◎	
	助言番号(承認番号)	公共測量実施計画に対する国土地理院からの「助言番号(承認番号)」を記入する。ただし、該当しない場合は、「99999999(8桁)」を記入する。	半角英数字	8	□	◎	
	作業規程名	当該測量の基となった作業規程名を記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	◎	
	製品仕様書 ※5	製品仕様書名	当該測量の基となった製品仕様書又は作業規程名を記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	△
		製品仕様書ファイル名	製品仕様書のファイル名を記入する。対応する製品仕様書のファイルが複数ある場合は、繰返し記入する。	半角英数 大文字	12	□	△
	第三者機関成果検定の有無	第三者機関による成果検定の実施の有無を、0又は1のコードで記入する。（0：なし、1：あり）	半角数字	1	□	◎	
	地籍調査成果格納用フォルダ名	地籍調査成果を格納するフォルダ名称（TISEKI で固定）を記入する。	半角英数 大文字	6 固定	▲	◎	
ドキュメント格納用フォルダ名	ドキュメント類を格納するフォルダ名称（DOC で固定）を記入する。	半角英数 大文字	3 固定	▲	△		
場所情報	測量区域番号	測量を行った区域の番号を記入する。	半角数字	2	□	◎	
	測量区域名	測量を行った区域の名称を記入する。	全角文字 半角英数	64	□	◎	
	区域情報	西側境界座標経度	対象領域または測量地域の最西端の座標を経度で表す。 度(3桁)分(2桁)秒(2桁) 西経の場合は頭文字に -(HYPHEN-MINUS)を記入する。	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	□	△ ※2
		東側境界座標経度	対象領域または測量地域の最東端の座標を経度で表す。 度(3桁)分(2桁)秒(2桁) 西経の場合は頭文字に -(HYPHEN-MINUS)を記入する。	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	□	
		北側境界座標緯度	対象領域または測量地域の最北端の座標を緯度で表す。 度(3桁)分(2桁)秒(2桁) 南経の場合は頭文字に -(HYPHEN-MINUS)を記入する。	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	□	
		南側境界座標緯度	対象領域または測量地域の最南端の座標を緯度で表す。 度(3桁)分(2桁)秒(2桁) 南経の場合は頭文字に -(HYPHEN-MINUS)を記入する。	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	□	
平面直角座標系	平面直角座標（17系）の系番号で記入する。	半角数字	2	□	△		

	西側境界平面直角座標	輪郭線(図郭線)内の対象領域の最西端座標を Y 座標で記入する。(m)	半角数字 -(HYPHEN -MINUS)	11	□	※2
	東側境界平面直角座標	輪郭線(図郭線)内の対象領域の最東端座標を Y 座標で記入する。(m)	半角数字 -(HYPHEN -MINUS)	11	□	
	北側境界平面直角座標	輪郭線(図郭線)内の対象領域の最北端座標を X 座標で記入する。(m)	半角数字 -(HYPHEN -MINUS)	11	□	
	南側境界平面直角座標	輪郭線(図郭線)内の対象領域の最南端座標を X 座標で記入する。(m)	半角数字 -(HYPHEN -MINUS)	11	□	
測量情報	測量区分	本要領に規定する「測量区分」(地籍調査で固定)を記入する。	全角文字 半角英数字	32	▲	◎
	地籍調査細区分	本要領に規定する「地籍調査細区分」を記入する。	全角文字 半角英数字	32	□	◎
	地籍調査記録フォルダパス名	地籍調査記録のフォルダパス名を記入する。(SURVEY 以下のフォルダ区切りは「/」で表す。)	半角英数 大文字	64	□	△ ※4
	地籍調査成果フォルダパス名	地籍調査成果のフォルダパス名を記入する。(SURVEY 以下のフォルダ区切りは「/」で表す。)	半角英数 大文字	64	□	△ ※4
	その他データフォルダパス名	各種証明書、説明書等のフォルダパス名を記入する。(SURVEY 以下のフォルダ区切りは「/」で表す。)	半角英数 大文字	64	□	◎ ※4
	測量区域 No	場所情報に記された「測量区域番号」を記入する。(※測量区域番号に記されたものの中から選択する。DTD 文法上改名)	半角数字	2	□	◎
	精度	地籍調査成果の精度を記入する。	半角数字	1	□	◎
	地図情報レベル	測量成果等の地図情報レベルを記入する。	半角数字	32	□	△
	画像種別	白黒、カラーの別を記入する。	半角数字	2	□	△
	解像度	地籍調査成果等の地上画素寸法やグリッド間隔に相当する値を記入する (m)	半角数字	7	□	△
	新規修正区分	対象地籍調査の新規地籍調査か修正地籍調査かの区分を記入する。	半角数字	1	□	△
	面積	地籍調査範囲の概略の面積を記入する。単位:k m <sup>2</sup>	半角数字	6	□	◎
	外周距離	地籍調査範囲の概算距離を記入する。概数単位: km	半角数字	6	□	△
	点数	基準点の点数を記入する。(与点の数は除く)	半角数字	4	□	△
モデル数	空中写真測量における、モデルの数を記入する	半角数字	4	□	△	
検定情報	測量成果検定証明書等のファイル名	測量成果検定証明書等のファイル名を、パスを含めて記入する。測量成果検定証明書等のファイルの数だけ繰返し記入する。(例: SURVEY/TISEKI/OTHS/TOTJ5nmn. PDF)	半角英数 大文字	64	□	△
	受注者説明文	受注者側で報告書に付けるコメントを記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	△
その他	予備	その他予備事項があれば記入する。(複数記入可能)	全角文字 半角英数字	127	□	△
ソフトメーカー用 TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)	全角文字 半角英数字	64	▲	△

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2 文字で全角文字 1 文字に相当する。

【記入者】 □ : 電子成果品作成者が記入する項目。

▲ : 電子成果品作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目。

【必要度】 ◎ : 必須記入項目。

△ : 任意記入項目。(情報が分かる場合は必ず記入する。)

- ※1 本地籍調査作業の対象となった測量区域の数だけ繰り返して記入する。(例：3 箇所が地籍調査作業実施対象→3 回繰り返す)
- ※2 緯度経度又は平面直角座標のどちらか一方若しくは双方を記入する。
- ※3 本地籍調査作業で行われた工程を「地籍調査細区分」の単位(地籍調査実施場所が異なる場合は別物とする)で記入し、細区分の数だけ繰り返して記入する。
- ※4 当該地籍調査細区分の成果が「地籍調査記録」、「地籍調査成果」、「その他データ」サブフォルダに格納されている場合は必ず記入する。 ※5 製品仕様書の数だけ繰り返して記入する。

**【解説】**

(1) 「助言番号」(承認番号)

公共測量の届出を行なった場合は、国土地理院地方測量部等から発行された番号「助言番号」若しくは「承認番号」を記入する。ただし、該当しない場合は「99999999 (8桁)」を記入する。文書番号から助言番号(承認番号)への記入方法は表 5-1-1 のとおりとする。

表 5-1-1 略称記号と助言番号(承認番号)の対象表

略称記号	文書番号	名称	略称記号	文書番号	名称
A	国地道公	北海道地方測量部	G	国地中公	中国地方測量部
B	国地東公	東北地方測量部	H	国地四公	四国地方測量部
C	国地関公	関東地方測量部	I	国地九公	九州地方測量部
D	国地北公	北陸地方測量部	J	国地沖公	沖縄支所
E	国地部公	中部地方測量部	K	国地企指公	企画部測量指導課
F	国地近公	近畿地方測量部			

例) 助言番号(承認番号)

国地道公発第 2 2 6 号  
 令和 5 年〇 月〇 日  
 令和 5 年度の北海道地方測量部の助言番号

} → R05A0226

(2) 作業規程名

当該地籍調査作業の基となった作業規程名を記入する。

(例:地籍調査作業規程準則(改正令和 6 年 6 月 28 日国土交通省令第 73 号))

(3) 製品仕様書

1) 製品仕様書名

当該地籍調査作業の基となった製品仕様書名を記入する。

(例:地図情報レベル 2500 データ作成の製品仕様書(案) 国土地理院技術資料 A・1-No. 295-1)

2) 製品仕様書ファイル名

ドキュメントフォルダに格納した製品仕様書ファイル名を記入する。

(4) 第三者機関成果検定の有無

当該地籍調査業務の第三者機関による成果検定の有無を、次より選択して記入する。

- ・第三者機関検定を実施しない場合：0
- ・第三者機関検定を実施する場合：1

(5) 測量区域番号・測量区域名称

地籍調査区域が複数にわたる場合、実際に地籍調査を行った区域毎に区域番号を割当ててのものとする。区域番号は「1」から開始する。割当てられた地籍調査区域毎に測量区域番号・測量区域名称及び区域情報について記入する。なお、測量区域名称には、地名（行政名：市町村名、地区名等、測量区域を特定できるもの）を記入する。

(6) 区域情報

区域情報は、「境界座標」、「平面直角座標値」のいずれかを用いて記入する。業務内容によって、場所情報を記入できない場合は記入する必要はない。区域情報の記入にあたっては、「平面直角座標」による記入が最も望ましい。

例：西側境界座標経度が「138 度 37 分 30 秒」の場合 → 1383730

(7) 測量区分

測量区分の名称は「地籍調査」を記入する。サブフォルダ名は「TISEKI」である。

(8) 地籍調査細区分

地籍調査細区分の名称は、下記の例に示すように細区分を示す英数字を付した名称を記入する。（4.2 地籍調査フォルダ構成を参照のこと）

地籍調査細区分は、地籍調査区域及び精度で区分するもので、末尾の英数字は A～Z, 1～9 の順に使用し、該当する地籍調査細区分サブフォルダ名の末尾英数字と一致させることが望ましい。

例：複数区域 (A, B) および複数精度 (甲 1、甲 2) が混在する場合、地区を優先とする

CPROC\_A A 地区の甲 1  
 CPROC\_B A 地区の甲 2  
 CPROC\_C B 地区の甲 1  
 CPROC\_D B 地区の甲 2

(9) 地籍調査記録フォルダパス名・地籍調査成果フォルダパス名

地籍調査成果が納められた地籍調査記録フォルダ、地籍調査成果フォルダ、及びその他データフォルダ以下のフォルダのパス名を記入する。当該地籍調査の成果が中間成果であって成果フォルダに格納されていない場合には記入しない。記入方法は以下に従う。

- ① フォルダ階層表示は「/」で区切る。
- ② パスの書出しは「SURVEY」とする。
- ③ 測量区分のサブフォルダのパス名は「TISEKI」とする。
- ④ 記録区分のサブフォルダのパス名は「WORK」、  
成果区分のサブフォルダのパス名は「DATA」とする。
- ⑤ 細区分のサブフォルダパス名は、(例)「CPROC\_A」とする。

※例 「SURVEY/TISEKI/WORK/CPROC\_A」、「SURVEY/TISEKI/DATA/CPROC\_A」

(10) 精度

地籍調査の「精度」を必ず記入する。

ただし、地籍図根三角測量など精度が記入できない場合は「0」を記入する。精度の記入方法は表 5-1-2 のとおりとする。

表 5-1-2 精度区分表

地籍調査精度区分	記入コード
甲 1	1
甲 2	2
甲 3	3
乙 1	4
乙 2	5
乙 3	6

(11) 地図情報レベル

測量成果の縮尺レベルを記入する。

例 1：地図情報レベル 500 の数値地形図の場合 → 500

例 2：地図情報レベル 1000 の数値地形図の場合 → 1000

例 3：地図情報レベルが混在（レベル 500、1000）の場合

→「測量情報」の単位で管理項目を 2 回繰り返し、「地図情報レベル」に「500」、「1000」をそれぞれ記入

例 4：地図情報レベルが未確定である場合

→「等級」、「地図情報レベル」のいずれかに「99」を記入なお、三次元点群測量のうち、三次元点群データ作成の場合については、地図情報レベルを未確定として「99」を記入

(12) 画像種別

空中写真撮影について、白黒、カラーの別を以下の数字（半角数字 1 桁）で記入する。

- ・白黒 : 1
- ・カラー : 2

(13) 解像度

写真地図の地上画素寸法、数値地形モデルのグリッド間隔に相当する値等、測量成果の地上画素寸法を記入する。

- 写真地図 25 cm の場合 → 0.25 ( m 単位で記入)
- DEM 25 m の場合 → 25 ( m 単位で記入)

(14) 新規修正区分

地籍調査を新規に実施地区の場合「1」、再調査をする場合「2」を記入する。

(15) 面積

地籍調査の対象範囲の概略面積（実施数量）を記入する（単位はkm<sup>2</sup>）。

(16) 外周距離

地籍調査範囲の概算外周距離を記入する（単位はkm）。

(17) 点数

当該基準点の点数（新点数）を記入する（与点の数は除く）。

(18) モデル数

空中写真測量における、モデルの数を記入する。

(19) 測量成果検定証明書等のファイル名

測量成果検定証明書等のファイル名を、パスを含めて記入する。

例：測量成果検定証明書等 → SURVEY/TISEKI/OTHR/TOTJ5nnn. PDF

## 5.2 地籍調査成果管理項目

成果品の電子媒体に格納する地籍調査成果管理ファイル (SURV\_TSK.XML) に記入する地籍調査成果管理項目は、表 5-2 に示すとおりである。

表 5-2 地籍調査成果管理項目

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
地籍調査成果情報	地籍調査区分フォルダ名	「地籍調査区分」のフォルダ名を記入する。(格納サブフォルダ名)(TISEKIで固定)	半角英数 大文字	6 固定	▲	◎
	地籍調査成果区分フォルダ名	地籍調査成果区別(地籍調査記録、地籍調査成果、その他データ)のフォルダ名を記入する。(格納サブフォルダ名)	半角英数 大文字	5	□	◎
	地籍調査細区分フォルダ名	表 4-2 で定義された地籍調査細区分のフォルダ名を記入する。(格納サブフォルダ名)	半角英数 大文字	8	□	△
	地籍調査成果名称	表 6-3 で定義された地籍調査成果の名称を記入する(例：精度管理表、観測手簿等)	全角文字 半角英数字	64	□	◎
	地籍調査成果ファイル形式	表 6-3 で定義された地籍調査成果のファイル形式を記入する。	半角英数字	12	□	◎
	地籍調査成果 レコードフォーマット	地籍調査成果ファイルのレコードフォーマットの名称や説明を記入する。	全角文字 半角英数字	64	□	△
	地籍調査成果作成 ソフトウェア名	地籍調査成果のファイルを作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。	全角文字 半角英数字	64	□	△
	ル成 情報 フ ア イ	地籍調査成果 ファイル名	表 6-3 で定義された地籍調査成果のファイル名を、拡張子を含めて記入する。	半角英数 大文字 ※1	13 ※1	□
地籍調査成果フ ァイル名副題		地籍調査成果等のファイル名副題を、拡張子を含めて記入する	全角文字 半角英数字	64	□	△
その他	受注者説明文	受注者側で報告書に付けるコメントを記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	△
	予備	その他予備事項があれば記入する。(複数記入可能)	全角文字 半角英数字	127	□	△
	ソフトウェア用TAG	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)	全角文字 半角英数字	64	▲	△

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2文字で全角文字1文字に相当する。

【記入者】 □：電子媒体作成者が記入する項目。

▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目。

【必要度】 ◎：必須記入項目。

△：任意記入項目。(情報が分かる場合は必ず記入する。)

※1 地籍フォーマット 2000 のファイル名のデータ表現、文字数については、「数値地籍情報の記録形式等について」の制定について(平成14年3月14日国土第595号国土交通省土地・水資源局国土調査課長通知)に従うものとする。

【解説】

(1) 地籍調査成果情報(カテゴリー)

格納されている成果の種類の数だけ繰り返し記入する。また、項目名の成果ファ

イル情報については、成果の数だけ繰り返し記入する。

(2) 地籍調査区分フォルダ名

地籍調査区分のフォルダ名「TISEKI」を記入する。

(3) 地籍調査成果区分フォルダ名

地籍調査の各工程で得られる地籍調査記録（観測手簿、観測記簿等）と、最終的な地籍調査成果（成果表、地籍図等）、及びその他データ（各種証明書、説明書等）に分類して格納するためのサブフォルダ名を記入する

①「WORK」・・・ 成果品を作成する過程の記録を格納する。

②「DATA」・・・最終成果品を格納する。

③「OTHR」・・・ 証明書、説明書等を格納する。

(4) 地籍調査細区分フォルダ名

地籍調査細区分名称は、表 4-2 地籍調査フォルダ構成に示すように実施した地籍調査工程に加え、地籍調査地域及び精度区分に応じて、A～Z, 1～9 の記号によって補助的に区分した測量細区分サブフォルダ名を記入する。

地籍調査の作業を分けせず 1 つのサブフォルダで作成する場合は、「CPROC\_A」、複数地区、複数精度区分の測量作業を区分する場合、「CPROC\_A～CPROC\_Z、CPROC\_1～CPROC\_9」となる。

(5) 地籍調査成果名称

表 6-3 に従い、地籍調査成果の名称を記入する（例：精度管理表、観測手簿、調査図素図等）。

(6) 地籍調査成果ファイル形式・地籍調査成果レコードフォーマット

地籍調査成果ファイル形式（表 6-3 を参照）を記入する。地籍調査成果レコードフォーマットの名称または準拠した仕様等の説明を記入する。

『地籍調査成果ファイル形式』:「PDF」「TXT」「DOC」等通常はファイルの拡張子を記入する。

『地籍調査成果レコードフォーマット』:特に説明を要するものについては、必ず記入する。なお、市販の広く流通したファイル形式のものについては省略することができる。

例 1：地籍調査作業規程準則

例 2：JPGIS 準拠の XML 形式

例 3：カンマ区切りの TXT 形式

例 4：ワールドファイル仕様の TXT 形式

(7) 地籍調査成果ファイル名

ファイル命名規則に従い命名した成果等のファイル名を記入する（拡張子含む）。ただし、地籍フォーマット 2000 のファイル命名規則については、「数値地籍情報の記録形式等について」の制定について（平成 14 年 3 月 14 日国土国第 595 号国土交通省土地・水資源局国土調査課長通知）に従うものとする。

(8) 地籍調査成果ファイル名副題

成果ファイル個々について利用上副題をつけて管理することが望ましいものについて、成果の内容がわかる記述を行う。具体的な内容は受発注者間の協議により定める。

例：精度管理表：地区名を付したファイル名 → ○○地区精度管理表.PDF

## 6 ファイル形式及びファイル命名規則

### 6.1 地籍調査成果ファイル形式

ファイル形式は、以下のとおりとする。

#### (1) 業務管理ファイルおよび各成果管理ファイル

業務管理ファイル、測量情報管理ファイル、及び地籍調査成果管理ファイルのファイル形式は XML とする。

#### (2) スタイルシート

各管理ファイルの閲覧性を高めるため、スタイルシートを用いてもよいが、XSL に準じて作成する。スタイルシートを作成した場合は、各管理ファイルと同じ場所に格納する。(3) 地籍調査成果等

地籍調査成果等のデータファイルの形式は「6.3 地籍調査成果ファイル」に示すとおりとする。

・ **PDF** : 米国のアドビシステムズ社が策定、発表した電子文書のファイルフォーマット。観測手簿、観測記簿、計算簿、成果表などが対象となる。

・ **JPGIS 準拠** : 「地理情報標準プロファイル Japan Profile for Geographic Information Standards (JPGIS)」に準拠した XML ファイル。基盤地図情報に該当する成果表(数値データ)や数値地形図データファイルが対象となる。なお、実データ以外に、XML スキーマ (XSD)、コードリスト (XML) が作成されるが、当該測量成果と同一のサブフォルダに格納する。また、XML スキーマ、コードリストは、同一ファイルを複数の実データから参照することがあるが、その場合、XML スキーマ、コードリストを重複して格納しないようにする。

・ **JMP2.0** : JMP2.0 による XML 形式で作成されたメタデータファイル。メタデータの記載方法は、次の規則による。

－ JMP2.0 (JMP : Japan Metadata Profile) (国土地理院、平成 14 年度) － JMP2.0 仕様書 (国土地理院技術資料 E.1-No.281)

－ JMP2.0 解説書 (国土地理院技術資料 E.1-No.282)

・ **標準図式データファイル** : 「公共測量標準図式数値地形図データファイル仕様」に従い作成される数値地形図データファイル。拡張デジタルマッピングデータファイル仕様と仕様上の差異はなく、インデックスデータファイル、データファイル、ファイル説明書のデータセットから構成される。

・ **SXF (P21)** : 本要領では、CAD データのファイル形式は、SXF (P21) とし、SXF Ver. 3.0 レベル 2 以上を原則とする。SXF (P21) の実データ以外に、SXF Ver. 3.0 以上の機能を利用した際に生成される属性ファイルである SAF ファイル、ラスタファイルが作成される。面的な成果である数値地形図データが対象となる。

・ **TXT** : 基本的にキャラクタコードからなるファイルであり、改行やファイルの終端などにはキャラクタ以外の制御コードを含む TXT ファイル。データをカンマで区切って並べた CSV ファイルも含まれる。成果表(数値データ)などが対象となる。ファイル仕様が定められているものは、次のとおりであり、これ以外は、受発注者間協議によりフォーマットを定める。

・ **オリジナル** : ソフトウェアの固有性が高い測量機器等のデータや、ワープロ・表計算ソフ

ト等を利用して作成される成果が対象となる。受発注者間協議により、ファイル形式を決定する。

・その他：関係団体等が推奨しているファイル形式。具体例を次に示す。

- － 観測手簿（多角、水準）における APA・SIMA（日本測量調査技術協会、日本測量機器工業会）
- － 測量成果（座標、路線、画地）における SIMA（日本測量機器工業会）
- － TS 地形測量における JSP・SIMA-DM（全国測量設計業協会連合会・日本測量機器工業会）
- － 地形・数値測量における精度管理表の TXT 形式（日本測量調査技術協会）
- － 観測手簿（GNSS 方式）における RINEX (Receiver Independent Exchangeformat)：受信機に独立な交換フォーマット

## 6.2 地籍調査成果ファイル命名規則

ファイル名（拡張子含む）は、半角英数大文字とし、以下の各項目に従うものとする。ただし、地籍フォーマット 2000 のファイル名命名規則は、「数値地籍情報の記録形式等について」の制定について（平成 14 年 3 月 14 日国土国第 595 号国土交通省土地・水資源局国土調査課長通知）に従うものとする。

### (1) 管理ファイル等

- 1) 測量情報管理ファイルは「SURVEY.XML」とし、測量情報管理ファイルの DTD は「TSUR\_Dnn.DTD」（nn はバージョン番号を表す）とする。
- 2) 地籍調査成果管理ファイルは、「SURV\_TSK.XML」とする。地籍調査成果管理ファイルの DTD は「TISK\_Dnn.DTD」（nn はバージョン番号を表す）とする。
- 3) 各管理ファイルのスタイルシートのファイル名は、「TSUR\_Dnn.XSL」、「TISK\_Dnn.XSL」（nn はバージョン番号を表す）とする。

### (2) 地籍調査成果ファイル等

地籍調査成果等のファイル名は、以下の規則を原則とし、図 6-1 に従うものとする。

- 1) 図 6-1 の「○○○」部分には、地籍調査細区分の設定記号（表 6-1 参照）を付す。表 6-1 の地籍調査細区分の記号の 3 文字目の「\*」には、通常「A」を入れる。複数地区や複数精度の場合、「A, B, C…Z, 1, …, 9」を順次使用する。
- 2) 図 6-1 の「▲▲」部分には、地籍調査成果の設定記号（表 6-3 参照）を付す。ファイル名の 4 文字目のアルファベットは、表 6-2 の設定記号を使い、ファイル名の 5 文字目の数字は、同一の地籍調査細区分、同一の成果等のカテゴリ内で割り当てた連番（1, …, 9, A, …, Z）を割当ててゐる。
- 3) 図 6-1 の「nnn」部分には、同一成果種類のファイル内で割り振った（001～999）連番を付す。同一成果の電子ファイルが複数ある場合は、001, 002, …, 999 を順次割当ててゐる。ファイル数が 999 を超える場合は、A00～A99, B00～B99, …, Z00～Z99 を用いる。

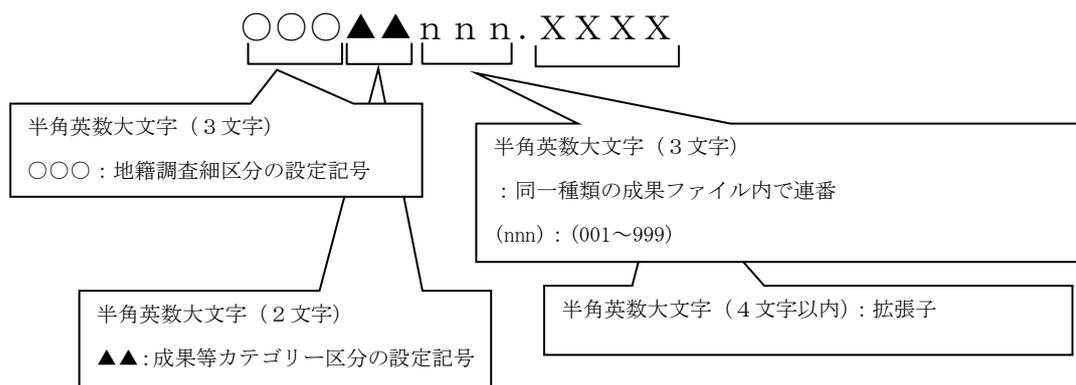


図 6-1 地籍調査成果ファイルの命名規則

【解説】

ファイル名は半角英数大文字で記述することを原則とする。

ファイル名に使用する文字は、半角（1バイト文字）で、大文字のアルファベット「A～Z」、数字「0～9」、アンダースコア「\_」のみとすることを基本とする。

表 6-1(a) 地籍調査細区分記号一覧（地籍調査：地上法）

地籍調査細区分	設定記号
地籍図根三角測量	TC*
地籍図根多角測量	TD*
一筆地調査	TE*
細部図根測量	TF*
一筆地測量	TF*
地籍図原図の作成	TF*
地積測定	TG*
地籍図及び地籍簿の作成	TH*
復元測量	TR*

※地籍フォーマット 2000 の各ファイル名には、地籍調査細区分記号は付与しないこと。

表 6-1(b) 地籍調査細区分記号一覧（地籍調査：航測法）

地籍調査細区分	設定記号
地籍図根三角測量	RC*
航空測量	RD*
一筆地調査	RE*
補備測量（細部図根測量）	RF*
補備測量（一筆地測量）	RF*

地籍図原図の作成	RF*
地積測定	RG*
地籍図及び地籍簿の作成	RH*
復元測量	RR*

※地籍フォーマット 2000 の各ファイル名には、地籍調査細区分記号は付与しないこと。

表 6-1(c) 地籍調査細区分記号一覧（街区境界調査）

地籍調査細区分	設定記号
地籍図根三角測量	GC*
地籍図根多角測量	GD*
一筆地調査	GE*
細部図根測量	GF*
街区境界測量	GF*
街区境界調査図原図の作成	GF*
街区面積測定	GG*
街区境界調査図及び街区境界調査簿の作成	GH*
復元測量	GR*

※地籍フォーマット 2000 の各ファイル名には、地籍調査細区分記号は付与しないこと。

表 6-2 ファイル名設定記号のカテゴリー区分

成果等の カテゴリー	成果等の名称	DATA WORK 区分	設定 記号
点の成果	基準点等成果簿写	WORK	A
	成果表、成果簿	DATA	
面の成果	地籍調査票、地積測定成果簿、地籍簿案、グリッドデータ、グラウンドデータ、微地形表現図等	DATA	B
点の記	選点手簿、既知点点の記	WORK	C
手簿・記簿・観測データ	観測記録簿、観測手簿、観測記簿、点群データ、調整点調査表等	WORK	D
計算簿類	距離補正計算書、偏心補正計算簿、点検計算簿、網平均計算簿、点検測量簿、座標計算書、与点の点検簿、バンドル調整計算簿、対空標識点明細表、写真座標測定簿等	WORK	E
網図・一覧図類	選点図、平均図、観測図、点検計算路線図、調査図素図、調査図素図一覧図、復元測量図、標定点・調整点配置図、対空標識点一覧図等	WORK	F
	網図、調査図、調査図一覧図、筆界点番号図、地籍図原図、地籍図明細図、地籍図一覧図等	DATA	
精度管理表	精度管理表（点検測量精度管理表含む）	WORK	G
説明書類	基準点現況調査報告書、測量標の設置状況写真等	WORK	H
その他	使用機器検定証明書・試験検査成績書、使用プログラム検定証明書、測量成果品検定証明書、ファイル説明書、総括表	OTHS	J
上記カテゴリーに属さない成果等	観測スケジュール、受信状況図、建標承諾書及び、表 6-3 に記載されていない成果等	WORK	Z
製品仕様書	製品仕様書	DOC	SPECP
特記仕様書	特記仕様書	DOC	SPECS
協議書	協議書等	DOC	MEETS
実施報告書	実施報告書	DOC	SUVRP
その他資料	その他資料	DOC	OTHS

※地籍フォーマット 2000 の各ファイル名には、カテゴリー設定記号は付与しないこと。

### 6.3 地籍調査成果ファイル

地籍調査の成果は、表 6-3 に示されるファイル形式、ファイル命名規則によって成果ファイルを作成するものとする。具体的な方法は運用基準によるものとする。

表 6-3(a) C 工程及び GC 工程成果のファイル形式・ファイル命名規則

地籍調査細区分	成果等の名称	ファイル形式	カテゴリ設定記号	DATA WORK 区分	備考
地籍図根 三角測量 <TC*> <RC*> <GC*>	基準点成果簿（写）	PDF	A1	WORK	平均縮尺係数等の計算書含む
	既知点の記	PDF	C1	WORK	
	地籍図根三角点選点手簿	PDF	C2	WORK	
	基準点現況調査報告書	PDF	H1	WORK	
	地籍図根三角点選点図	PDF	F1	WORK	
	地籍図根三角点平均図	PDF	F2	WORK	
	地籍図根三角点観測図	PDF	F3	WORK	必要に応じて基線解析図含む。
	観測記録簿	PDF	D1	WORK	
	観測手簿	PDF 及び観測 データ	D2	WORK	APA・SIMA 又は、RINEX フォーマット
	観測記簿	PDF	D3	WORK	高度角補正計算書含む。
	距離補正計算書	PDF	E1	WORK	
	偏心補正計算簿	PDF	E2	WORK	
	点検計算簿	PDF	E3	WORK	
	点検計算路線図	PDF	F4	WORK	
	網平均計算簿	PDF	E4	WORK	
	点検測量簿	PDF	E5	WORK	手簿・記簿
	受信状況図（＝カーテン 情報）	PDF	Z1	WORK	
	観測スケジュール	PDF	Z2	WORK	
	精度管理表	PDF	G1	WORK	点検測量精度管理表含む
	地籍図根三角点成果簿	PDF	A2	DATA	
地籍図根三角点網図	SXF 及び PDF	F5	DATA	他の CAD 形式でも可	
測量標の設置状況写真	PDF 又は JPEG	H2	WORK		

表 6-3(b) D 工程及び GD 工程成果のファイル形式・ファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリ 設定記号	DATA WORK 区分	備考
地籍図根 多角測量 <TD*> <GD*>	基準点成果簿（写）	PDF	A1	WORK	平均縮尺係数等の計算書含む
	既知点点の記	PDF	C1	WORK	
	地籍図根多角点選点図	PDF	F1	WORK	
	地籍図根多角点平均図	PDF	F2	WORK	
	地籍図根多角点観測図	PDF	F3	WORK	必要に応じて基線解析図含む。
	観測記録簿	PDF	D1	WORK	
	観測手簿	PDF 及び観測 データ	D2	WORK	APA・SIMA 又は、RINEX フォーマット
	観測記簿	PDF	D3	WORK	高度角補正計算書含む。
	距離補正計算書	PDF	E1	WORK	
	偏心補正計算簿	PDF	E2	WORK	
	点検計算簿	PDF	E3	WORK	
	点検計算路線図	PDF	F4	WORK	
	網平均計算簿	PDF	E4	WORK	
	点検測量簿	PDF	E5	WORK	手簿・記簿
	受信状況図（＝カーテン 情報）	PDF	Z1	WORK	
	観測スケジュール	PDF	Z2	WORK	
	精度管理表	PDF	G1	WORK	点検測量精度管理表含 む
	地籍図根多角点成果簿	PDF	A2	DATA	
	地籍図根多角点網図	SXF 及び PDF	F5	DATA	他の CAD 形式でも可
測量標の設置状況写真	PDF 又は JPEG	H1	WORK		

表 6-3(c) RD 工程成果のファイル形式・ファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリー 設定記号	DATA WORK 区分	備考
航空測量 <RD*>	既存データの収集				
	既存空中写真及びその他 関連資料	—	Z1	WORK	協議によりファイル形 式を決定。
	既存航空レーザ測量成果 及びその他関連資料	—	Z2	WORK	協議によりファイル形 式を決定。
	標定点等の設置				
	基準点等成果簿写	PDF	A1	WORK	
	標定点・調整點選点図	PDF	F1	WORK	
	標定点・調整点配置図	PDF	F2	WORK	
	標定点・調整点測量簿	PDF	E1	WORK	
	標定点・調整点成果簿	TXT	A2	WORK	
	精度管理表	PDF	G1	WORK	
	航測図根點選点図	PDF	F3	WORK	
	標識の設置状況写真	JPEG 又は PDF	H1	WORK	
	対空標識の設置				
	対空標識点明細表	PDF	E2	WORK	
	対空標識点一覧図	PDF	F4	WORK	
	精度管理表	PDF	G2	WORK	
	空中写真測量<空中写真撮影>				
	標定図	PDF	F5	WORK	
	空中写真	TIF	H2	WORK	協議により他の形式で も可
	サムネイル写真	JPEG	H3	WORK	
	G N S S / I M U 解析 結果精度管理表	PDF	G3	WORK	
	撮影記録簿	PDF	H4	WORK	
	精度管理表	PDF	G4	WORK	
	空中写真測量<空中三角測量>				
	空中三角測量成果表	TXT	A3	WORK	
	空中三角測量実施一覧図	PDF	F6	WORK	
	写真座標測定簿	TXT	E3	WORK	
	内部標定残差表	TXT	E4	WORK	
	相互標定計算簿	TXT	E5	WORK	

バンドル調整計算簿（標定 点残差表、写真座標残差表、 外部標定要素残差表）	TXT	E6	WORK	
航測図根点成果簿	TXT	A4	WORK	
航測図根点配置図	PDF	F7	WORK	
精度管理表	PDF	G5	WORK	
空中写真測量＜基礎資料の作成＞				
オルソ画像	TIF	F8	DATA	協議により他の形式でも可
オルソ画像一覧図	TIF	F9	DATA	協議により他の形式でも可
精度管理表	PDF	G6	WORK	
航空レーザ測量＜航空レーザ計測＞				
航空レーザ計測コース図	PDF	H5	WORK	
航空レーザ計測データ	TXT	H6	WORK	協議により他の形式でも可
G N S S / I M U 解析 結果精度管理表	PDF	G7	WORK	
航空レーザ計測記録簿・ 航跡図・計測漏れ点検図	PDF	H7	WORK	
精度管理表	PDF	G8	WORK	
航空レーザ測量＜航空レーザ計測データの解析＞				
G N S S / I M U 調整 計算成果表	PDF	A5	WORK	
点群データ	TXT	D1	WORK	受発注者間協議により 他の形式（LAS形式等） も可
調整点調査表	PDF	D2	WORK	
コース間点検箇所配点図	PDF	FA	WORK	
コース間点検精度管理表	PDF	G9	WORK	
調整点残差表	PDF	E7	WORK	
D S M 成果簿	TXT	A6	WORK	
D S M データファイル	XML	A7	WORK	JPGIS 準拠、協議によ り、その他の形式も可
D E M 成果簿	TXT	A8	WORK	
D E M データファイル	XML	A9	WORK	JPGIS 準拠、協議によ り、その他の形式も可
オリジナルデータ	XML	B1	DATA	JPGIS 準拠、協議によ り、その他の形式も可
グラウンドデータ	XML	B2	DATA	JPGIS 準拠、協議によ り、その他の形式も可
グリッドデータ	XML	B3	DATA	JPGIS 準拠、協議によ り、その他の形式も可

	等高線データ	XML	B4	DATA	JPGIS 準拠、協議により、その他の形式も可
	図郭データ	XML	B5	DATA	JPGIS 準拠、協議により、その他の形式も可
	数値地形図データファイル	XML	B6	DATA	JPGIS 準拠、協議により、その他の形式も可
	精度管理表	PDF	GA	WORK	
航空レーザ測量<基礎資料の作成>					
	微地形表現図ファイル	XML 及び PDF	B7	DATA	XML形式は、JPGIS 準拠、協議により他の形式でも可
	微地形表現図一覧図	TIF	FB	DATA	協議により他の形式でも可
	樹高分布図ファイル	XML 及び PDF	B8	DATA	XML形式は、JPGIS 準拠、協議により他の形式でも可
	樹高分布図一覧図	TIF	FC	DATA	協議により他の形式でも可
	林相識別図ファイル	XML 及び PDF	B9	DATA	XML形式は、JPGIS 準拠、協議により他の形式でも可
	林相識別図一覧図	TIF	FD	DATA	協議により他の形式でも可
	精度管理表	PDF	GB	WORK	
補備測量					
※補備測量を実施した場合は、表 6-3(f)、表 6-3(g)のファイル形式・ファイル命名規則を準用すること。					
筆界点座標値の算出					
	筆界点座標値算出成果簿	PDF	AA	DATA	
	精度管理表	PDF	GC	WORK	

表 6-3(d) E 工程成果のファイル形式・ファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリー 設定記号	DATA WORK 区分	備考
一筆地調査 <TE*> <RE*>	調査図素図	PDF	F1	WORK	
	調査図素図一覧図	PDF	F2	WORK	
	地籍調査票(立会署名後)	PDF	B1	DATA	委任状等含む
	調査図	PDF	F3	DATA	
	調査図一覧図	PDF	F4	DATA	

	公図及びその他関連資料	PDF	Z1	WORK	登記簿要約書、地積測量図等 必要に応じ、地図 XML データも格納
--	-------------	-----	----	------	--------------------------------------

表 6-3(e) GE 工程成果のファイル形式・ファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリー 設定記号	DATA WORK 区分	備考
一筆地調査 <GE*>	調査図素図	PDF	F1	WORK	
	調査図素図一覧図	PDF	F2	WORK	
	街区境界調査票（立会署名後）	PDF	B1	DATA	委任状等含む
	調査図	PDF	F3	DATA	
	調査図一覧図	PDF	F4	DATA	
	公図及びその他関連資料	PDF	Z1	WORK	登記簿要約書、地積測量図等 必要に応じ、地図 XML データも格納

表 6-3(f) FI 工程及び GF I 工程成果のファイル形式・ファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリー 設定記号	DATA WORK 区分	備考
細部図根 測量 <TF*> <RF*> <GF*>	基準点等成果簿（写）	PDF	A1	WORK	平均縮尺係数等の計算書含む
	既知点点の記	PDF	C1	WORK	
	細部多角点選点図	PDF	F1	WORK	
	細部多角点平均図	PDF	F2	WORK	
	細部多角点観測図	PDF	F3	WORK	必要に応じて基線解析図含む。
	細部図根点選点図	PDF	F4	WORK	
	観測記録簿	PDF	D1	WORK	
	観測手簿	PDF 及び観測 データ	D2	WORK	APA・SIMA 又は、RINEX フォーマット
	観測記簿	PDF	D3	WORK	高度角補正計算書含む。
	距離補正計算書	PDF	E1	WORK	
	点検計算簿	PDF	E2	WORK	
	点検計算路線図	PDF	F5	WORK	
	座標計算書	PDF	E3	WORK	
	セット間較差の点検及び座標計算書	PDF	E4	WORK	
	網平均計算簿	PDF	E5	WORK	
点検測量簿	PDF	E6	WORK	手簿・記簿	

	受信状況図 (=カーテン情報)	PDF	Z1	WORK	
	観測スケジュール	PDF	Z2	WORK	
	精度管理表	PDF	G1	WORK	点検測量精度管理表含む。
	与点の点検簿	PDF	E7	WORK	
	細部図根点成果簿	PDF	A2	DATA	
	細部図根点網図	SXF 及び PDF	F6	DATA	他の CAD 形式でも可
	細部図根点配置図	SXF 及び PDF	F7	DATA	他の CAD 形式でも可
	測量標の設置状況写真	PDF 又は JPEG	H1	WORK	

表 6-3(g) FII-1 工程及び GFII-1 工程成果のファイル形式・ファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリー 設定記号	DATA WORK 区分	備考
一筆地測量 <TF*> <RF*>	基準点等成果簿 (写)	PDF	A1	WORK	平均縮尺係数等の計算書含む
	観測記録簿	PDF	D1	WORK	
街区境界 測量 <GF*>	観測手簿	PDF	D2	WORK	
	観測記録簿	PDF	D3	WORK	高度角補正計算書含む。
	距離補正計算書	PDF	E1	WORK	
	点検計算簿	PDF	E2	WORK	
	座標計算書	PDF	E3	WORK	
	セット間較差の点検及び 座標計算簿	PDF	E4	WORK	
	網平均計算簿	PDF	E5	WORK	
	受信状況図 (=カーテン 情報)	PDF	Z1	WORK	
	観測スケジュール	PDF	Z2	WORK	
	精度管理表	PDF	G1	WORK	
	与点の点検簿	PDF	E6	WORK	
	筆界点成果簿	PDF	A2	DATA	

表 6-3(h) FII-2 工程成果のファイル形式・ファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリー 設定記号	DATA WORK 区分	備考
地籍図原 図の作成 <TF*> <RF*>	筆界点番号図	SXF 及び PDF	F1	DATA	他の CAD 形式でも可
	地籍図原図	SXF 及び PDF	F2	DATA	他の CAD 形式でも可
	地籍明細図	SXF 及び PDF	F3	DATA	他の CAD 形式でも可
	地籍図一覧図	SXF 及び PDF	F4	DATA	他の CAD 形式でも可

表 6-3(i) GFII-2 工程成果のファイル形式・ファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリー 設定記号	DATA WORK 区分	備考
街区境界 調査図原 図の作成 <GF*>	筆界点番号図	SXF 及び PDF	F1	DATA	他の CAD 形式でも可
	街区境界調査図原図	SXF 及び PDF	F2	DATA	他の CAD 形式でも可
	街区境界調査明細図	SXF 及び PDF	F3	DATA	他の CAD 形式でも可
	街区境界調査図一覧図	SXF 及び PDF	F4	DATA	他の CAD 形式でも可

表 6-3(j) G 工程成果のファイル形式・ファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリー 設定記号	DATA WORK 区分	備考
地積測定 <TG*> <RG*>	地積測定観測計算簿	PDF	E1	WORK	外周面積計算書含む
	精度管理表（全体集計）	PDF	G1	WORK	
	地目別集計表	PDF	E2	WORK	
	字毎地目別地積集計表	PDF	E3	WORK	
	地積測定成果簿	PDF	B1	DATA	

表 6-3(k) GG 工程成果のファイル形式・ファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリー 設定記号	DATA WORK 区分	備考
街区面積 測定 <GG*>	街区面積測定観測計算簿	PDF	E1	WORK	外周面積計算書含む
	精度管理表（全体集計）	PDF	G1	WORK	
	街区面積測定成果簿	PDF	B1	DATA	

表 6-3(1) H 工程成果のファイル形式・ファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリー 設定記号	DATA WORK 区分	備考
地籍図及 び地籍簿 の作成 <TH*> <RH*>	地籍簿案	PDF	B1	DATA	他のファイル形式でも可。
	地区別情報ファイル	hed	—	DATA	
	地図番号情報ファイル	map	—	DATA	
	筆界点情報ファイル	pnt	—	DATA	
	筆・長狭物図形情報ファイル	pol	—	DATA	
	筆属性情報ファイル	atr	—	DATA	
	共有者情報ファイル	cos	—	DATA	
	筆界未定構成筆属性情報ファイル	und	—	DATA	
	仮行政界線情報ファイル	lin	—	DATA	
	図根点等情報ファイル	tcp	—	DATA	
	国土調査登記情報ファイル	txt	—	DATA	

※地籍フォーマット 2000 のファイル形式については、「数値地籍情報の記録形式等について」の制定について（平成 14 年 3 月 14 日国土国第 595 号国土交通省土地・水資源局国土調査課長通知）に従うものとする。

表 6-3(m) GH 工程成果のファイル形式・ファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル 形 式	カテゴリー 設定記号	DATA WORK 区分	備考
街区境界 調査図及	街区境界調査簿案	PDF	B1	DATA	他のファイル形式でも可。

び街区境界調査簿の作成 <GH*>	地区別情報ファイル	hed	—	DATA	
	地図番号情報ファイル	map	—	DATA	
	筆界点情報ファイル	pnt	—	DATA	
	筆・長狭物図形情報ファイル	pol	—	DATA	
	筆属性情報ファイル	atr	—	DATA	
	共有者情報ファイル	cos	—	DATA	
	筆界未定構成筆属性情報ファイル	und	—	DATA	
	仮行政界線情報ファイル	lin	—	DATA	
	図根点等情報ファイル	tcp	—	DATA	
	国土調査登記情報ファイル	txt	—	DATA	

※地籍フォーマット 2000 のファイル形式については、「数値地籍情報の記録形式等について」の制定について（平成 14 年 3 月 14 日国土国第 595 号国土交通省土地・水資源局国土調査課長通知）に従うものとする。

表 6-3(n) FR 工程、RR 工程及び GR 工程成果のファイル形式・ファイル命名規則

地籍調査細区分	成果等の名称	ファイル形式	カテゴリ設定記号	DATA WORK 区分	備考
復元測量 <TR*> <RR*> <GR*>	観測手簿	PDF	D1	WORK	
	変換計算簿	PDF	E1	WORK	
	逆打計算簿	PDF	E2	WORK	
	精度管理表	PDF	G1	WORK	
	復元測量図	SXF	F1	WORK	
	現況重ね図	SXF 及び PDF	F2	DATA	他の CAD データでも可

表 6-3(n) その他資料等のファイル形式・ファイル命名規則

地籍調査細区分	成果等の名称	ファイル形式	カテゴリ設定記号	DATA WORK 区分	備考
その他 <TOT>	使用機器検定証明書・試験検査成績書	PDF	J1	OTHR	

	使用プログラム検定証明書	PDF	J2	OTHR	
	検査成績表	PDF	J3	OTHR	
	ファイル説明書	PDF	J4	OTHR	
	測量成果品検定証明書	PDF	J5	OTHR	
	地籍測量総括表	PDF	J6	OTHR	

注・ファイル説明書

電子媒体の全体のフォルダ構成、格納場所を記録すること。

## 【運用基準】

(各成果共通事項)

- 1) ファイルは、1 ファイル 100 枚単位または成果種別毎に作成し、図の成果ファイルは、図単位または図の種別単位で作成する。
- 2) 表 6-3(a)～(m)に記載されていない地籍調査記録、資料等は各工程毎に所定の方法により当該工程 WORK フォルダに格納する。

(地籍図根三角測量)

- 1) 基準点成果簿(写)・既知点点の記・地籍図根三角点選点手簿・基準点現況調査報告書・地籍図根三角点選点図・地籍図根三角点平均図・地籍図根三角点観測図・観測記録簿・観測記簿(高度角補正計算書含む)・距離補正計算書・偏心補正計算簿・点検計算簿・点検計算路線図・網平均計算簿・点検測量簿・受信状況図(=カーテン情報)・観測スケジュール・精度管理表(点検測量精度管理表含む)・地籍図根三角点成果簿は、PDF形式で納品する。
- 2) 観測手簿は、PDF形式に加えてAPA・SIMAまたはRINEXフォーマット形式で納品する。PDF形式以外のファイル名については、PDF形式の最終ファイル名の後の番号を連番にて付与する。  
例：TCAD2001.PDF～TCAD2010.PDF、TCAD2011.拡張子～TCAD2020.拡張子
- 3) 地籍図根三角点網図は、SXF(p21)及びPDFで納品する。また受発注者間の協議により他のCAD形式で納品することができる。ファイル名については、SXF(p21)形式もしくは他のCAD形式の最終ファイル名の後の番号に、PDF形式を連番にて付与する。  
例：TCAF6001.P21～TCAF6010.P21、TCAF6011.PDF～TCAF6020.PDF
- 4) 測量標の設置状況写真は、JPEG又はPDF形式で納品する。
- 5) 表 6-3(a)に記載されていない地籍調査記録、資料等については、ファイル名を「TC\*Z\*nnn.拡張子」に則して付け、WORKサブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

(地籍図根多角測量)

- 1) 基準点成果簿(写)・既知点点の記・地籍図根多角点選点図・地籍図根多角点平均図・地籍図根多角点観測図・観測記録簿・観測記簿(高度角補正計算書含む)・距離補正計算書・偏心補正計算簿・点検計算簿・点検計算路線図・網平均計算簿・点検測量簿・受信状況図(=カーテン情報)・観測スケジュール・精度管理表(点検測量精度管理

表含む。)・地籍図根多角点成果簿は PDF 形式で納品する。

- 2) 観測手簿は、PDF 形式に加えて APA・SIMA または RINEX フォーマット形式で納品する。PDF 形式以外のファイル名については、PDF 形式の最終ファイル名の後の番号を連番にて付与する。

例：TDAD2001.PDF～TDAD2010.PDF、TDAD2011. 拡張子～TDAD2020. 拡張子

- 3) 地籍図根多角点網図は、SXF (p21) 及び PDF 形式で納品する。また受発注者間の協議により他の CAD 形式で納品することができる。ファイル名については、SXF (p21) 形式もしくは他の CAD 形式の最終ファイル名の後の番号に、PDF 形式を連番にて付与する。

例：TDAF6001.P21～TDAF6010.P21、TDAF6011.PDF～TDAF6020.PDF

- 4) 測量標の設置状況写真は、JPEG 又は PDF 形式で納品する。
- 5) 表 6-3 (b) に記載されていない地籍調査記録、資料等については、ファイル名を「TD \*Z\* nnn. 拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

#### (航空測量)

##### (既存データの収集)

- 1) 既存空中写真及びその他関連資料・既存航空レーザ測量成果及びその他関連資料のファイル形式は受発注者間等の協議により決定して納品する。

##### (標定点等の設置)

- 2) 基準点等成果簿写、標定点・調整點選点図、標定点・調整点配置図、標定点・調整点測量簿、標定点・調整点成果簿、精度管理表、航測図根點選点図は、PDF 形式で納品する。
- 3) 標識の設置状況写真は、JPEG 又は PDF 形式で納品する。

##### (対空標識の設置)

- 4) 対空標識点明細表・対空標識点一覧図・精度管理表は、PDF 形式で納品する。

##### (空中写真撮影)

- 5) 標定図・GNSS / IMU 解析結果精度管理表・撮影記録簿・精度管理表は、PDF 形式で納品する。
- 6) 空中写真は、TIF 形式で納品する。また受発注者間等の協議により他のファイル形式で納品することもできる。
- 7) サムネイル写真は、JPEG 形式で納品する。

##### (空中三角測量)

- 8) 空中三角測量成果表・写真座標測定簿・内部標定残差表・相互標定計算簿・バンドル調整計算簿 (標定点残差表、写真座標残差表、外部標定要素残差表)・航測図根点成果簿は、TXT 形式で納品する。
- 9) 空中三角測量実施一覧図・航測図根点配置図・精度管理表は、PDF 形式で納品する。

##### (基礎資料の作成)

- 10) オルソ画像・オルソ画像一覧図は、TIF 形式で納品する。また受発注者間等の協議により

他のファイル形式で納品することもできる。

- 11) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。

(航空レーザ計測)

- 12) 航空レーザ計測コース図・GNSS/I MU解析結果精度管理表・航空レーザ計測記録簿・航跡図・計測漏れ点検図・精度管理表は、PDF 形式で納品する。
- 13) 航空レーザ計測データは、TXT 形式で納品する。また受発注者間等の協議により他のファイル形式で納品することもできる。

(航空レーザ計測データの解析)

- 14) GNSS/I MU調整計算成果表・調整点調査表・コース間点検箇所配点図・コース間点検精度管理表・調整点残差表・精度管理表は、PDF形式で納品する。
- 15) DSMデータファイル・DEMデータファイル・オリジナルデータ・グラウンドデータ・グリッドデータ・等高線データ・図郭データ・数値地形図データファイルは XML 形式で納品する。また受発注者間等の協議により他のファイル形式で納品することもできる。
- 16) 点群データ・DSM成果簿・DEM成果簿は、TXT 形式で納品する。また受発注者間等の協議により他のファイル形式で納品することもできる。

(基礎資料の作成)

- 17) 微地形表現図ファイル・樹高分布図ファイル・林相識別図ファイルは、XML 形式に加えて PDF 形式で納品する。PDF 形式のファイル名については、XML 形式の最終ファイル名の後の番号を連番にて付与する。

例：RDAB7001.XML～RDAB7010.PDF、RDAB7011.PDF～RDAB7020.PDF

また受発注者間等の協議により他のファイル形式で納品することもできる。

- 19) 微地形表現図一覧図・樹高分布図一覧図・林相識別図一覧図は、TIF 形式で納品する。また受発注者間等の協議により他のファイル形式で納品することもできる。
- 20) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。

(筆界点座標値の算出)

- 21) 筆界点座標値算出成果簿・精度管理表は、PDF 形式で納品する。

(一筆地調査)

- 1) 調査図素図・調査図素図一覧図・地籍調査票及び街区境界調査票（立会署名後）・調査図・調査図一覧図・公図及びその他の関連資料（登記簿要約書、地積測量図等）は PDF 形式で納品する。必要に応じ、地図 XML データも格納できるものとする。
- 2) 表 6-3(d)及び(e)に記載されていない地籍調査記録、資料等については、ファイル名を「TE\*Z\*nnn. 拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

(細部図根測量)

- 1) 細部図根測量の基準点等成果簿写・既知点の記・細部多角点選点図・細部多角点平均図・細部多角点観測図・細部図根点選点図・観測記録簿・観測記簿（高度角補正計算書含む）・距離補正計算書・点検計算簿・点検計算路線図・座標計算書・セット間較差の点検及び座標計算簿・網平均計算簿・点検測量簿・受信状況図（＝カーテン情

報)・観測スケジュール・精度管理表(点検測量精度管理表含む)・与点の点検簿・細部図根点成果簿は、PDF形式で納品する。

- 2) 観測手簿は、PDF形式に加えてAPA・SIMAまたはRINEXフォーマット形式で納品する。PDF形式以外のファイル名については、PDF形式の最終ファイル名の後の番号を連番にて付与する。

例：TFAD2001.PDF～TFAD2010.PDF、TFAD2011.拡張子～TFAD2020.拡張子

- 3) 細部図根点網図及び細部図根点配置図は、SXF(p21)及びPDF形式で納品する。また受発注者間の協議により他のCAD形式で納品することができる。ファイル名については、SXF(p21)形式もしくは他のCAD形式の最終ファイル名の後の番号に、PDF形式を連番にて付与する。

例：TFAF6001.P21～TFAF6010.P21、TFAF6011.PDF～TFAF6020.PDF

- 4) 測量標の設置状況写真は、JPEG又はPDF形式で納品する。ただし、地籍図根多角測量を省略した場合において、地籍図根多角点に準じた標識を設置した一次の細部多角点に限る。
- 5) 表6-3(f)に記載されていない地籍調査記録、資料等については、ファイル名を「TF\*Z\*nnn.拡張子」に則して付け、WORKサブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

#### (一筆地測量、街区境界測量)

- 1) 基準点等成果簿写・観測記録簿・観測手簿・観測記簿・距離補正計算書・セット間較差の点検及び座標計算簿・点検測量簿・与点の点検簿・精度管理表(点検測量精度管理表含む)・筆界点成果簿はPDF形式で納品する。
- 2) 表6-3(g)に記載されていない地籍調査記録、資料等については、ファイル名を「TF\*Z\*nnn.拡張子」に則して付け、WORKサブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

#### (地籍図原図の作成、街区境界調査図原図の作成)

- 1) 筆界点番号図・地籍図原図・地籍明細図・地籍図一覧図・街区境界調査図原図・街区境界調査明細図・街区境界調査図一覧図は、SXF(p21)及びPDF形式で納品する。また受発注者間の協議により他のCAD形式で納品することができる。ファイル名については、SXF(p21)形式もしくは他のCAD形式の最終ファイル名の後の番号に、PDF形式を連番にて付与する。

例：TFAF1001.P21～TFAF1010.P21、TFAF1011.PDF～TFAF1020.PDF

- 2) 表6-3(h)及び(i)に記載されていない地籍調査記録、資料等については、ファイル名を「TF\*Z\*nnn.拡張子」に則して付け、WORKサブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

#### (地積測定、街区面積測定)

- 1) 地積測定観測計算簿(外周面積計算書含む)・精度管理表(全体集計)・地目別集計表・字毎地目別集計表・地積測定成果簿・街区測定観測計算簿(外周面積計算書含む)・街区面積測定成果簿は、PDF形式で納品する。

- 2) 表 6-3(i)及び (k) に記載されていない地籍調査記録、資料等については、ファイル名を「TG\*Z\*nnn. 拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

(地籍図及び地籍簿の作成、街区境界調査図及び街区境界調査簿の作成)

- 1) 地籍簿案・街区境界調査簿案は、PDF 形式で納品する。また受発注者間等の協議により他のファイル形式で納品することができる。
- 2) 地籍フォーマット 2000 の各ファイルは、「数値地籍情報の記録形式等について」の制定について（平成 14 年 3 月 14 日国土国第 595 号国土交通省土地・水資源局国土調査課長通知）に従って納品する。

(復元測量)

- 1) 現況測量図・復元測量図は、SXF (p21) 形式で納品する。また受発注者間の協議により他の CAD 形式で納品することができる。
- 2) 観測手簿・変換計算簿・逆打計算簿・精度管理表は PDF 形式で納品する。
- 3) 現況重ね図は、SXF (p21) 及び PDF 形式で納品する。また受発注者間の協議により他の CAD 形式で納品することができる。ファイル名については、SXF (p21) 形式もしくは他の CAD 形式の最終ファイル名の後の番号に、PDF 形式を連番にて付与する。  
例：TRAF3001.P21～TRAF3010.P21、TRAF3011.PDF～TRAF3020.PDF
- 4) 表 6-3 (n) に記載されていない地籍調査記録、資料等については、ファイル名を「TG\*Z\*nnn. 拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

#### 【留意事項】

①各成果品のデータ作成については、利用方法により以下の形式で作成する。

##### (1) PDF 形式

納品後の主たる利用方法が閲覧である成果は PDF 形式とする。

PDF 形式のファイルを主として以下のいずれかの方法で作成する。

##### 1) アナログ資料のスキャニング

元資料が手書き資料・検符済み等の紙媒体である場合は、スキャニングにより電子化し、PDF 形式で保存する。スキャニングの解像度は 200dpi 以上、白黒 2 値を標準とし、文字が識別できるものとする。ただし、図面については、白黒の場合は白黒 2 値、色があるものについてはフルカラーを原則とする。

尺度が図中に記載されていない場合、また表記されている尺度とスキャニングの尺度が異なる場合は、図中にスキャニング時の尺度を明記すること。

##### 2) オリジナルソフトウェアで出力可能な成果品の場合

測量設計 CAD ソフトウェアやワープロ、表計算ソフトウェアで作成した成果品については、印刷機能などにより Acrobat 等を利用して PDF に変換することを原則とする。

##### (2) CAD 形式

網図等の成果は、受発注者間等の協議により SXF (p21) 以外の CAD 形式とすることができる。納品する CAD 形式の使用については受発注者間等の協議により決定し、必要に応じてデータの仕様等を説明したファイル説明書 (PDF 形式) を作成の上、成果品データ

と併せて納品する。納品する CAD 形式については、CAD における標準フォーマットが規定されるまで、受発注者間等で十分協議し、CAD のフォーマットを決めること。

(3) オリジナル形式

ソフトウェアの固有性が高い測量機器等のデータや、ワープロ、表計算ソフトを利用して作成されている成果については、受発注者間等の協議によりファイル形式を特定の上、オリジナルのファイル形式とすることができる。オリジナル形式で納品する場合は、必要に応じてファイル形式、レコードフォーマット等を説明したファイル説明書（PDF 形式）を作成し、成果品データと併せて納品する。

(4) その他の形式

関係団体が推奨しているファイル形式とする場合は、ファイル形式を特定の上、作成することができる。ただし、下記に記載するファイル形式のほか、可能な限り汎用性のあるファイル形式とする。

例) ・ TS 観測手簿における APA-SIMA

(日本測量調査技術協会、日本測量機器工業会)

・ GPS 観測手簿における RINEX

②既存地図を利用する時のファイル作成時における注意事項

既存地図を測量成果に使用した場合は、ファイル説明書に出所を明記すること。

例) 「国土地理院発行の 1/25,000 の地形図を細部図根測量の選点図に一部使用した」

## 7 その他留意事項

### 7.1 電子納品の対象外となる成果等

地籍調査成果のうち、電子化が困難な以下の成果は電子納品の「対象外」とする。

例) 電子化が困難なもの

- ・ネガフィルム
- ・密着印画

### 7.2 測地系

本要領で扱う測地系は、世界測地系とする。

#### 【解説】

測量法改正（平成13年6月20日）によって、平成14年4月1日から測量法に従って行われる地籍調査の測量は、新しい測地系（世界測地系）に準拠して行うこととなった。

このため、本要領では、新しい測地系（世界測地系）に準拠した地籍調査成果の納品を義務付けるものである。

## 付属資料 1

1-1 測量情報管理ファイル (TSUR.XML) の DTD 例 (ファイル名 : TSURnn.DTD) nn は版情報

```
<!--TSURD04.DTD /2021/03-->
```

```
<!ELEMENT SURVEY (基礎情報+, 場所情報+, 測量情報+, 検定情報?, その他?, ソフトメーカー用TAG*)>
```

```
<!ATTLIST SURVEY DTD_version CDATA #FIXED "04">
```

```
<!-- ***** -->
```

```
<!--          基礎情報          -->
```

```
<!-- ***** -->
```

```
<!ELEMENT 基礎情報 (適用要領基準, 助言番号, 作業規程名, 製品仕様書+, 第三者機関成果検定の有無, 地籍調査成果格納用フォルダ名, ドキュメント格納用フォルダ名)>
```

```
<!ELEMENT 適用要領基準 (#PCDATA)>
```

```
<!ELEMENT 助言番号 (#PCDATA)>
```

```
<!ELEMENT 作業規程名 (#PCDATA)>
```

```
<!ELEMENT 製品仕様書 (製品仕様書名, 製品仕様書ファイル名+)>
```

```
<!ELEMENT 第三者機関成果検定の有無 (#PCDATA)>
```

```
<!ELEMENT 地籍調査成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
```

```
<!ELEMENT ドキュメント格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
```

```
<!--*****-->
```

```
<!--          場所情報          -->
```

```
<!--*****-->
```

```
<!ELEMENT 場所情報 (測量区域番号, 測量区域名?, 区域情報)>
```

```
<!ELEMENT 測量区域番号 (#PCDATA)>
```

```
<!ELEMENT 測量区域名 (#PCDATA)>
```

```
<!--*****-->
```

```
<!--          区域情報          -->
```

```
<!--*****-->
```

```
<!ELEMENT 区域情報 (西側境界座標経度?, 東側境界座標経度?, 北側境界座標緯度?, 南側境界座標緯度?, 平面直角座標系?, 西側境界平面直角座標?, 東側境界平面直角座標?, 北側境界平面直角座標?, 南側境界平面直角座標?)>
```

```
<!ELEMENT 西側境界座標経度 (#PCDATA)>
```

```
<!ELEMENT 東側境界座標経度 (#PCDATA)>
```

```
<!ELEMENT 北側境界座標緯度 (#PCDATA)>
```

```
<!ELEMENT 南側境界座標緯度 (#PCDATA)>
```

```
<!ELEMENT 平面直角座標系 (#PCDATA)>
```

```
<!ELEMENT 西側境界平面直角座標 (#PCDATA)>
```

<!ELEMENT 東側境界平面直角座標 (#PCDATA)>  
 <!ELEMENT 北側境界平面直角座標 (#PCDATA)>  
 <!ELEMENT 南側境界平面直角座標 (#PCDATA)>

<!-- \*\*\*\*\* -->  
 <!-- 測量情報 -->  
 <!-- \*\*\*\*\* -->  
 <!ELEMENT 測量情報 (測量区分, 地籍調査細区分, 地籍調査記録フォルダパス名?, 地籍調査成果フォルダパス名?,  
 その他データフォルダパス名, 測量区域No, 精度, 地図情報レベル?, 画像種別?, 解像度?, 新規修正区分?,  
 面積, 外周距離?, 点数?, モデル数?)>

<!ELEMENT 測量区分 (#PCDATA)>  
 <!ELEMENT 地籍調査細区分 (#PCDATA)>  
 <!ELEMENT 地籍調査記録フォルダパス名 (#PCDATA)>  
 <!ELEMENT 地籍調査成果フォルダパス名 (#PCDATA)>  
 <!ELEMENT その他データフォルダパス名 (#PCDATA)>  
 <!ELEMENT 測量区域No (#PCDATA)>  
 <!ELEMENT 精度 (#PCDATA)>  
 <!ELEMENT 地図情報レベル (#PCDATA)>  
 <!ELEMENT 画像種別 (#PCDATA)>  
 <!ELEMENT 解像度 (#PCDATA)>  
 <!ELEMENT 新規修正区分 (#PCDATA)>  
 <!ELEMENT 面積 (#PCDATA)>  
 <!ELEMENT 外周距離 (#PCDATA)>  
 <!ELEMENT 点数 (#PCDATA)>  
 <!ELEMENT モデル数 (#PCDATA)>

<!-- \*\*\*\*\* -->  
 <!-- 検定情報 -->  
 <!-- \*\*\*\*\* -->  
 <!ELEMENT 検定情報 (測量成果検定証明書等のファイル名\*)>  
 <!ELEMENT 測量成果検定証明書等のファイル名 (#PCDATA)>

<!-- \*\*\*\*\* -->  
 <!-- その他 -->  
 <!-- \*\*\*\*\* -->  
 <!ELEMENT その他 (受注者説明文?, 予備\*)>

<!ELEMENT 受注者説明文 (#PCDATA)>  
 <!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>

<!ELEMENT ソフトメーカー用TAG (#PCDATA)>

## 1-2 地籍調査成果管理ファイルの DTD 例 (ファイル名: TISK\_Dnn.DTD) nn は版情報

```
<!-- TISK_D03.DTD /2008/12-->
<!ELEMENT SURV_DATA (地籍調査成果情報+, その他?, ソフトメーカ用TAG?)>
<!ATTLIST SURV_DATA DTD_version CDATA #FIXED "03">

<!-- ***** -->
<!--          地籍調査成果情報          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 地籍調査成果情報 (地籍調査区分フォルダ名, 地籍調査成果区分フォルダ名, 地籍調査細区分フォルダ名?, 地籍調査成果名称, 地籍調査成果ファイル形式, 地籍調査成果レコードフォーマット?, 地籍調査成果作成ソフトウェア名?, 成果ファイル情報+)>

<!ELEMENT 地籍調査区分フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍調査成果区分フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍調査細区分フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍調査成果名称 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍調査成果ファイル形式 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍調査成果レコードフォーマット (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍調査成果作成ソフトウェア名 (#PCDATA)>

<!-- ***** -->
<!--          成果ファイル情報          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 成果ファイル情報 (地籍調査成果ファイル名, 地籍調査成果ファイル名副題?)>
<!ELEMENT 地籍調査成果ファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍調査成果ファイル名副題 (#PCDATA)>

<!-- ***** -->
<!--          その他          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT その他 (受注者説明文?, 予備*)>

<!ELEMENT 受注者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>

<!ELEMENT ソフトメーカ用TAG (#PCDATA)>
```

## 付属資料 2

### 2-1 測量情報管理ファイルの XML 例

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS" ?>
<!DOCTYPE SURVEY SYSTEM "TSUR_D01 .DTD">
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="TSUR_D01.XSL"?>
<SURVEY DTD_version="01">

  <基礎情報>
    <適用要領基準>地籍 202504-01</適用要領基準>
    <助言番号>R06C0052</助言番号>
    <作業規程名>地籍調査作業規程準則及び同運用基準</作業規程名>
    <製品仕様書>
      <製品仕様書名>〇〇県〇〇市地籍図根三角測量、地籍図根多角測量、細部図根測量製品仕様書(案)</製品仕様書名>
    >
      <製品仕様書ファイル名>SPEC001.PDF</製品仕様書ファイル名>
      <製品仕様書名>〇〇県〇〇市一筆地測量製品仕様書(案)</製品仕様書名>
      <製品仕様書ファイル名>SPEC002.PDF</製品仕様書ファイル名>
    </製品仕様書>
    <第三者機関成果検定の有無>1</第三者機関成果検定の有無>
    <地籍調査成果格納用フォルダ名>TISEKI</地籍調査成果格納用フォルダ名>
    <ドキュメント格納用フォルダ名>DOC</ドキュメント格納用フォルダ名>
  </基礎情報>

  <場所情報>
    <測量区域番号>1</測量区域番号>
    <測量区域名>〇〇町の一部地区</測量区域名>
    <区域情報>
      <西側境界座標経度></西側境界座標経度>
      <東側境界座標経度></東側境界座標経度>
      <北側境界座標緯度></北側境界座標緯度>
      <南側境界座標緯度></南側境界座標緯度>
      <平面直角座標系>9</平面直角座標系>
      <西側境界平面直角座標>-60000.00</西側境界平面直角座標>
      <東側境界平面直角座標>-40000.00</東側境界平面直角座標>
      <北側境界平面直角座標>-28500.00</北側境界平面直角座標>
      <南側境界平面直角座標>-39000.00</南側境界平面直角座標>
    </区域情報>
  </場所情報>

  <測量情報>
```

<測量区分>地籍調査</測量区分>  
<地籍調査細区分>地籍図根三角測量</地籍調査細区分>  
<地籍調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/CPROC\_A</地籍調査記録フォルダパス名>  
<地籍調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/CPROC\_A</地籍調査成果フォルダパス名>  
<その他データフォルダパス名>SURVEY/TISEKI/OTHR</その他データフォルダパス名>  
<測量区域 No>1</測量区域 No>  
<精度>0</精度>  
<地図情報レベル></地図情報レベル>  
<新規修正区分>1</新規修正区分>  
<面積>0.08</面積>  
<外周距離>2.8</外周距離>  
<点数>5</点数>  
</測量情報>

<測量情報>  
<測量区分>地籍調査</測量区分>  
<地籍調査細区分>地籍図根多角測量</地籍調査細区分>  
<地籍調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/DPROC\_A</地籍調査記録フォルダパス名>  
<地籍調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/DPROC\_A</地籍調査成果フォルダパス名>  
<その他データフォルダパス名>SURVEY/TISEKI/OTHR</その他データフォルダパス名>  
<測量区域 No>1</測量区域 No>  
<精度>3</精度>  
<地図情報レベル></地図情報レベル>  
<新規修正区分>1</新規修正区分>  
<面積>0.08</面積>  
<外周距離>2.8</外周距離>  
<点数>576</点数>  
</測量情報>

<測量情報>  
<測量区分>地籍調査</測量区分>  
<地籍調査細区分>細部図根測量</地籍調査細区分>  
<地籍調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/F1PROC\_A</地籍調査記録フォルダパス名>  
<地籍調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/F1PROC\_A</地籍調査成果フォルダパス名>  
<その他データフォルダパス名>SURVEY/TISEKI/OTHR</その他データフォルダパス名>  
<測量区域 No>1</測量区域 No>  
<精度>3</精度>  
<地図情報レベル></地図情報レベル>  
<新規修正区分>1</新規修正区分>  
<面積>0.08</面積>  
<外周距離>2.8</外周距離>  
<点数>5401</点数>

</測量情報>

<測量情報>

<測量区分>地籍調査</測量区分>

<地籍調査細区分>一筆地測量</地籍調査細区分>

<地籍調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/F2PROC\_A</地籍調査記録フォルダパス名>

<地籍調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/F2PROC\_A</地籍調査成果フォルダパス名>

<その他データフォルダパス名>SURVEY/TISEKI/OTHR</その他データフォルダパス名>

<測量区域 No>1</測量区域 No>

<精度>3</精度>

<地図情報レベル></地図情報レベル>

<新規修正区分>1</新規修正区分>

<面積>0.08</面積>

<外周距離>2.8</外周距離>

<点数>13401</点数>

</測量情報>

<測量情報>

<測量区分>地籍調査</測量区分>

<地籍調査細区分>地積測定</地籍調査細区分>

<地籍調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/GPROC\_A</地籍調査記録フォルダパス名>

<地籍調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/GPROC\_A</地籍調査成果フォルダパス名>

<その他データフォルダパス名>SURVEY/TISEKI/OTHR</その他データフォルダパス名>

<測量区域 No>1</測量区域 No>

<精度>3</精度>

<地図情報レベル></地図情報レベル>

<新規修正区分>1</新規修正区分>

<面積>0.08</面積>

<外周距離>2.8</外周距離>

<点数></点数>

</測量情報>

<測量情報>

<測量区分>地籍調査</測量区分>

<地籍調査細区分>一筆地調査</地籍調査細区分>

<地籍調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/EPROC\_A</地籍調査記録フォルダパス名>

<地籍調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/EPROC\_A</地籍調査成果フォルダパス名>

<その他データフォルダパス名>SURVEY/TISEKI/OTHR</その他データフォルダパス名>

<測量区域 No>1</測量区域 No>

<精度>3</精度>

<地図情報レベル></地図情報レベル>

<新規修正区分>1</新規修正区分>

<面積>0.08</面積>

<外周距離>2.8</外周距離>

<点数></点数>

</測量情報>

<測量情報>

<測量区分>地籍調査</測量区分>

<地籍調査細区分>地籍図及び地籍簿の作成</地籍調査細区分>

<地籍調査記録フォルダパス名></地籍調査記録フォルダパス名>

<地籍調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/HPROC\_A</地籍調査成果フォルダパス名>

<その他データフォルダパス名>SURVEY/TISEKI/OTHR</その他データフォルダパス名>

<測量区域No>1</測量区域No>

<精度>3</精度>

<地図情報レベル></地図情報レベル>

<新規修正区分>1</新規修正区分>

<面積>0.08</面積>

<外周距離>2.8</外周距離>

<点数></点数>

</測量情報>

<測量情報>

<測量区分>地籍調査</測量区分>

<地籍調査細区分>復元測量</地籍調査細区分>

<地籍調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/FRPROC\_A </地籍調査記録フォルダパス名>

<地籍調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/FRPROC\_A</地籍調査成果フォルダパス名>

<その他データフォルダパス名>SURVEY/TISEKI/OTHR</その他データフォルダパス名>

<測量区域No>1</測量区域No>

<精度>3</精度>

<地図情報レベル></地図情報レベル>

<新規修正区分>1</新規修正区分>

<面積>0.08</面積>

<外周距離>2.8</外周距離>

<点数></点数>

</測量情報>

<検定情報>

<測量成果検定証明書等のファイル名>SURVEY/KITEN/OTHR/TOTJ5001.PDF</測量成果品検定証明書のファイル名>

</検定情報>

<その他>

<受注者説明文></受注者説明文>

<予備></予備>

</その他>

<ソフトメーカー用 TAG><http://www.abcdefghijk.co.jp></ソフトメーカー用 TAG>

<ソフトメーカー用 TAG>株式会社〇〇〇〇〇</ソフトメーカー用 TAG>

</SURVEY>

## 2-2 地籍調査成果管理ファイルのXML例

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE SURV_DATA SYSTEM "TISK_D03.DTD">
<SURV_DATA DTD_version="03">
<地籍調査成果情報>
<地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>
<地籍調査成果区分フォルダ名>WORK</地籍調査成果区分フォルダ名>
<地籍調査細区分フォルダ名>CPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>
<地籍調査成果名称>観測手簿</地籍調査成果名称>
<地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>
<地籍調査成果レコードフォーマット></地籍調査成果レコードフォーマット>
<地籍調査成果作成ソフトウェア名>Adobe Acrobat 9.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>
<成果ファイル情報>
<地籍調査成果ファイル名>TCAD2001.PDF</地籍調査成果ファイル名>
<地籍調査成果ファイル名副題>観測手簿_1.PDF</地籍調査成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>
<成果ファイル情報>
<地籍調査成果ファイル名>TCAD2002.PDF</地籍調査成果ファイル名>
<地籍調査成果ファイル名副題>観測手簿_2.PDF</地籍調査成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>
</地籍調査成果情報>

<地籍調査成果情報>
<地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>
<地籍調査成果区分フォルダ名>WORK</地籍調査成果区分フォルダ名>
<地籍調査細区分フォルダ名>CPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>
<地籍調査成果名称>観測手簿</地籍調査成果名称>
<地籍調査成果ファイル形式>APA</地籍調査成果ファイル形式>
<地籍調査成果レコードフォーマット></地籍調査成果レコードフォーマット>
<地籍調査成果作成ソフトウェア名></地籍調査成果作成ソフトウェア名>
<成果ファイル情報>
<地籍調査成果ファイル名>TCAD2003.APA</地籍調査成果ファイル名>
<地籍調査成果ファイル名副題>観測手簿データ_1.APA</地籍調査成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報><成果ファイル情報>
<地籍調査成果ファイル名>TCAD2004.APA</地籍調査成果ファイル名>
<地籍調査成果ファイル名副題>観測手簿データ_2.APA</地籍調査成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>
</地籍調査成果情報>

<その他>
<受注者説明文></受注者説明文>
<予備></予備>
```

</その他>

<ソフトメーカー用 TAG><http://www.abcdefghijklm.co.jp></ソフトメーカー用 TAG>

<ソフトメーカー用 TAG>株式会社〇〇〇〇〇</ソフトメーカー用 TAG>

</SURV\_DATA>